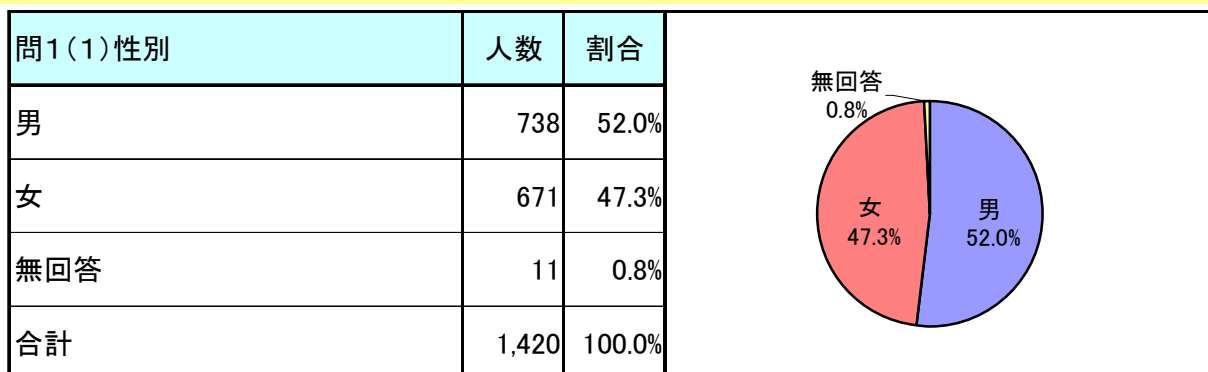


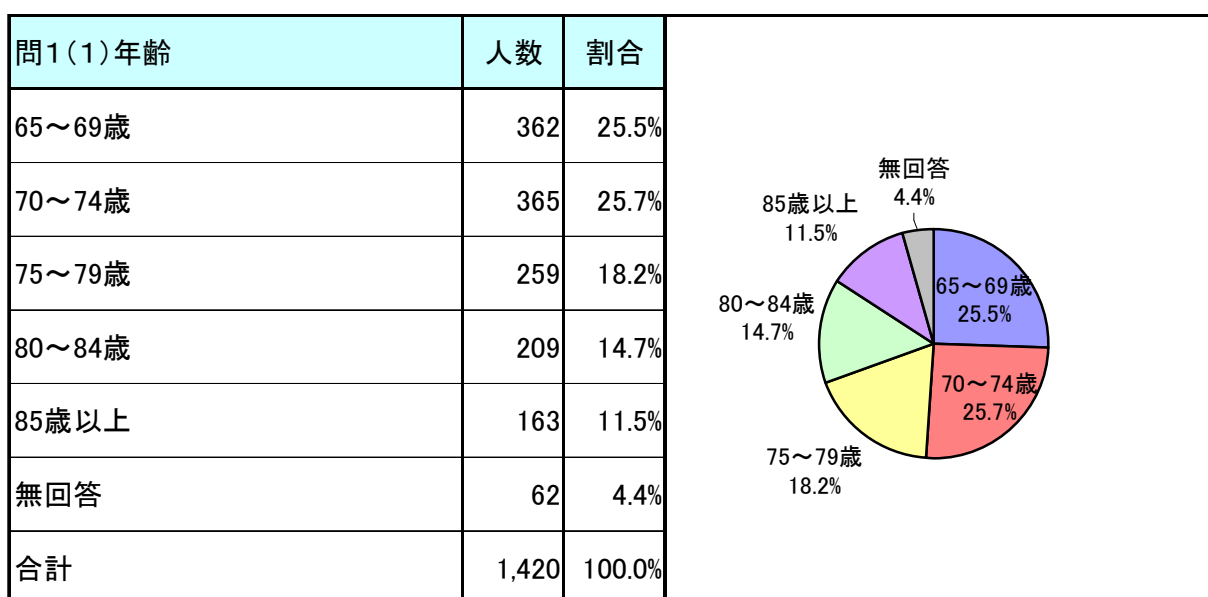
第5章 高齡者

1 性別、年齢、就労状況などについて

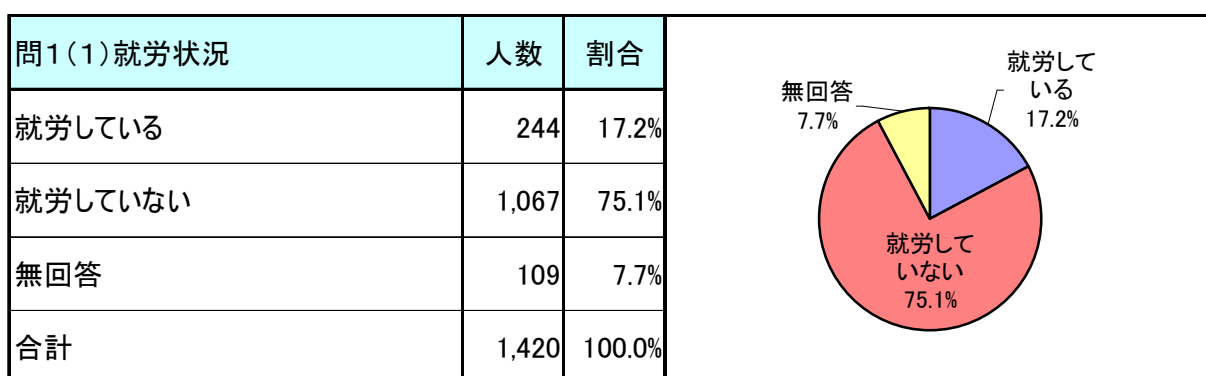
問1 あなたの性別や世帯構成などについてお聞きします。



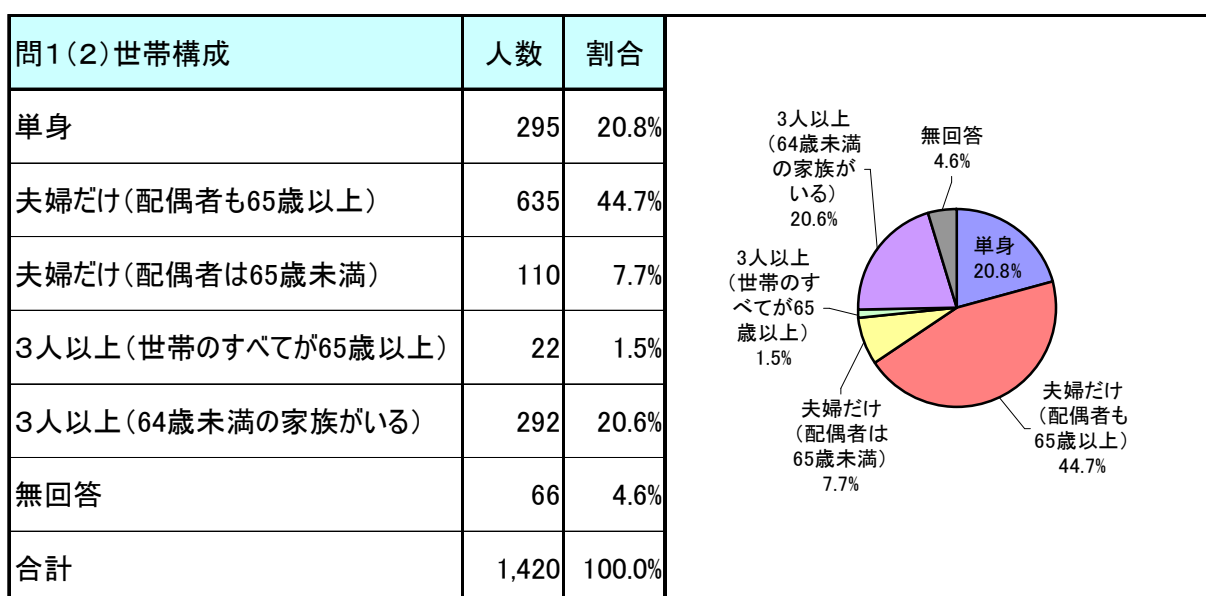
性別については、「男」が52.0%、「女」が47.3%となっている。



年齢については、「70～74歳」が25.7%と最も多く、次いで「65～69歳」が25.5%、「75～79歳」が18.2%となっている。

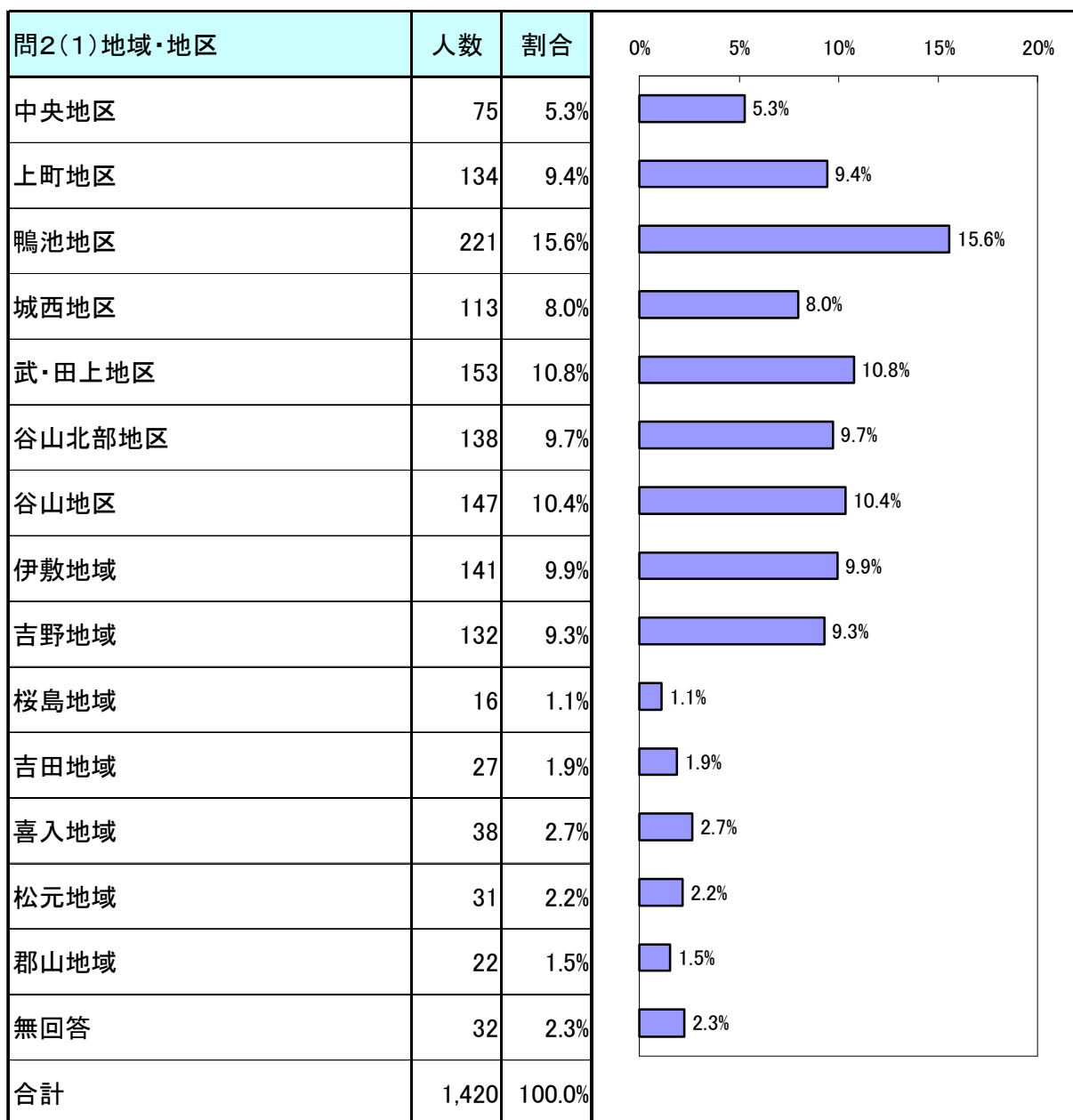


就労については、「就労している」が17.2%、「就労していない」が75.1%となっている。



世帯構成については、「夫婦だけ(配偶者も65歳以上)」が44.7%と最も多く、次いで「単身」が20.8%、「3人以上(64歳未満の家族がいる)」が20.6%となっている。

問2 あなたのお住まいについてお聞きします。

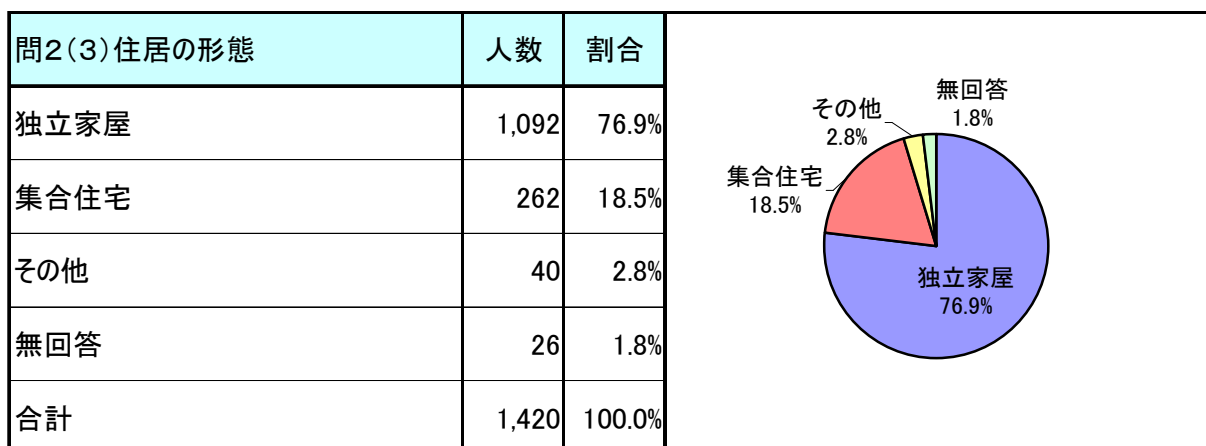


(注) 第五次総合計画に基づく地域・地区

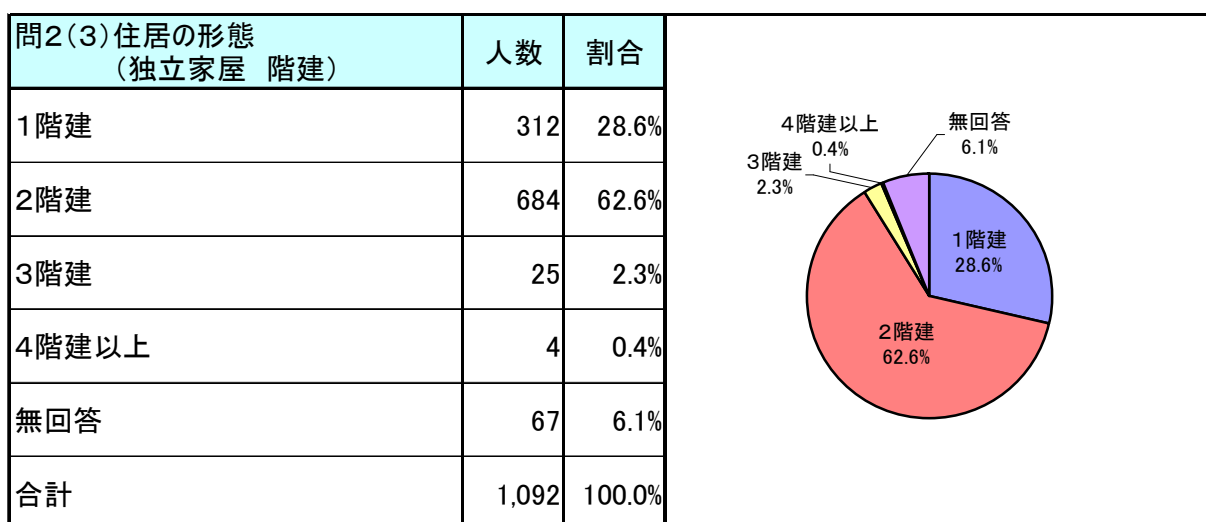
現住所地については、「鴨池地区」が 15.6%と最も多く、次いで「武・田上地区」が 10.8%、「谷山地区」が 10.4%となっている。

問2 (2) 小学校区

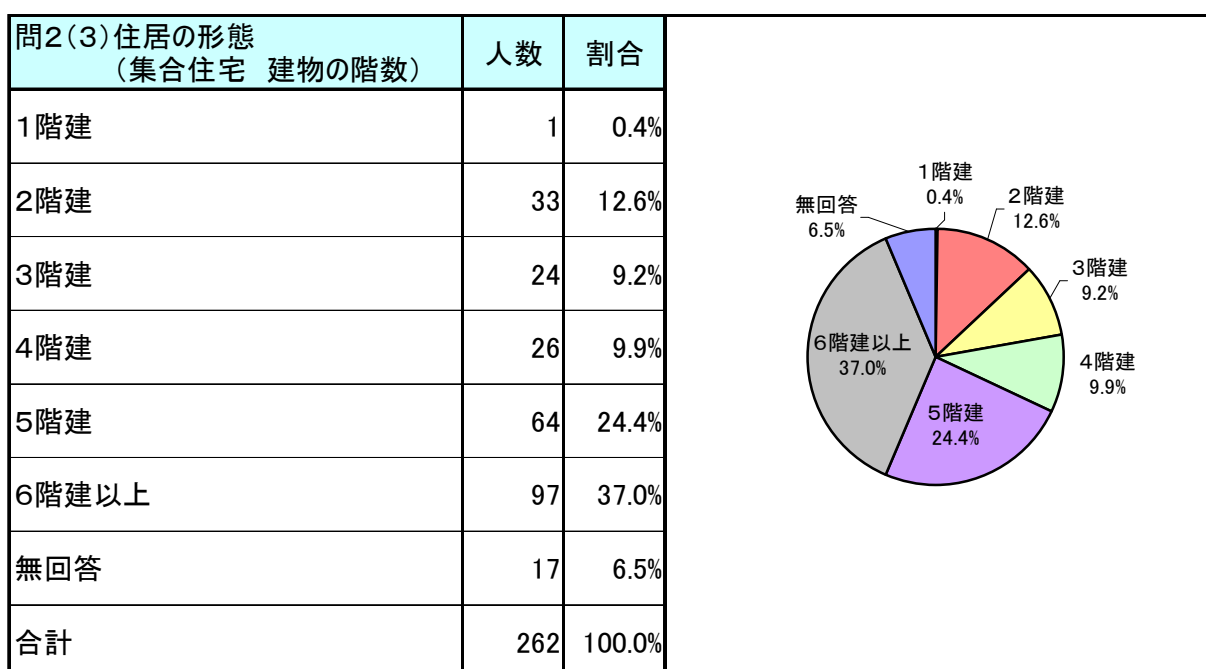
区 分	人数	割合	区 分	人数	割合
吉田小学校	7	0.5%	花野小学校	13	0.9%
本名小学校	2	0.1%	西伊敷小学校	32	2.3%
宮小学校	3	0.2%	伊敷台小学校	14	1.0%
本城小学校	5	0.4%	玉江小学校	29	2.0%
牟礼岡小学校	7	0.5%	小山田小学校	6	0.4%
南方小学校	5	0.4%	犬迫小学校	6	0.4%
花尾小学校	2	0.1%	皆与志小学校	2	0.1%
郡山小学校	14	1.0%	東桜島小学校	3	0.2%
川上小学校	43	3.0%	改新小学校	0	0.0%
吉野小学校	29	2.0%	高免小学校	0	0.0%
吉野東小学校	22	1.5%	黒神小学校	0	0.0%
大明丘小学校	17	1.2%	桜洲小学校	6	0.4%
坂元小学校	31	2.2%	桜峰小学校	4	0.3%
坂元台小学校	20	1.4%	松元小学校	11	0.8%
清水小学校	27	1.9%	東昌小学校	5	0.4%
大龍小学校	10	0.7%	春山小学校	10	0.7%
名山小学校	9	0.6%	石谷小学校	6	0.4%
山下小学校	14	1.0%	谷山小学校	37	2.6%
松原小学校	13	0.9%	西谷山小学校	12	0.8%
城南小学校	20	1.4%	東谷山小学校	29	2.0%
草牟田小学校	36	2.5%	清和小学校	17	1.2%
原良小学校	21	1.5%	和田小学校	21	1.5%
明和小学校	30	2.1%	錦江台小学校	26	1.8%
武岡小学校	35	2.5%	福平小学校	38	2.7%
武岡台小学校	17	1.2%	平川小学校	2	0.1%
西田小学校	32	2.3%	錫山小学校	0	0.0%
武小学校	14	1.0%	中山小学校	17	1.2%
田上小学校	27	1.9%	桜丘西小学校	6	0.4%
西陵小学校	34	2.4%	桜丘東小学校	5	0.4%
広木小学校	22	1.5%	星峯西小学校	7	0.5%
中洲小学校	6	0.4%	星峯東小学校	2	0.1%
荒田小学校	21	1.5%	宮川小学校	2	0.1%
八幡小学校	28	2.0%	皇徳寺小学校	11	0.8%
中郡小学校	25	1.8%	瀬々串小学校	8	0.6%
紫原小学校	32	2.3%	中名小学校	9	0.6%
西紫原小学校	25	1.8%	喜入小学校	12	0.8%
鴨池小学校	30	2.1%	前之浜小学校	5	0.4%
南小学校	15	1.1%	生見小学校	0	0.0%
宇宿小学校	16	1.1%	一倉小学校	2	0.1%
向陽小学校	11	0.8%	無回答	204	14.4%
伊敷小学校	24	1.7%	合 計	1,420	100.0%



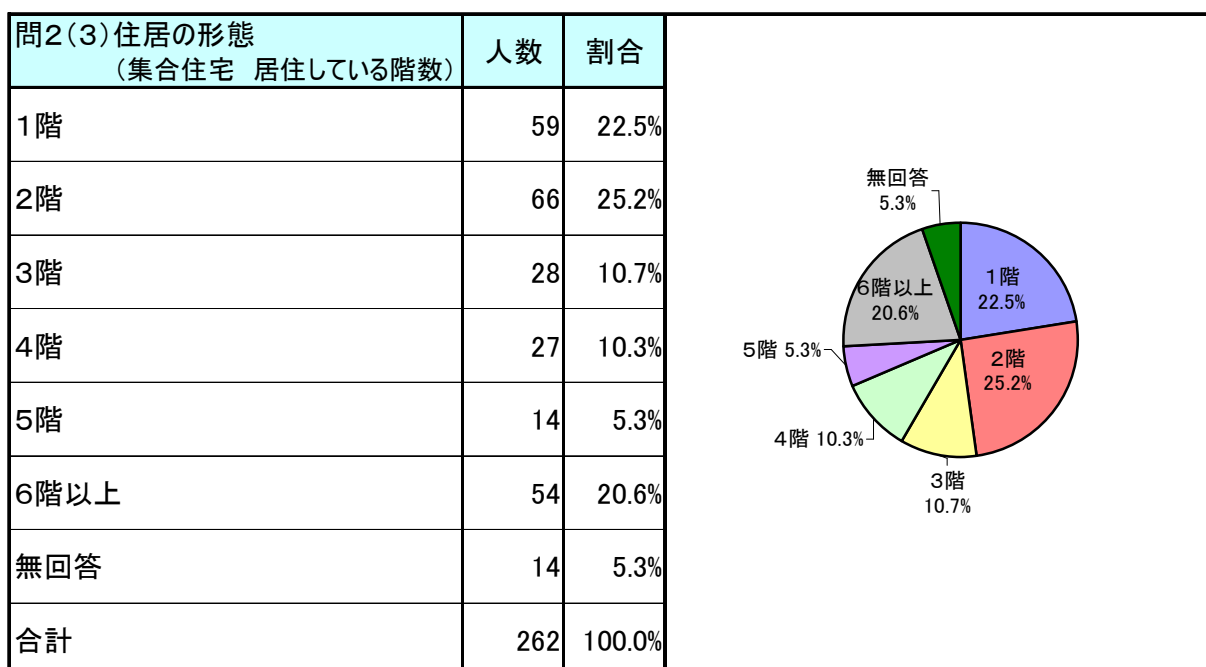
住居の形態については、「独立家屋」が76.9%、「集合住宅」が18.5%となっている。



独立家屋の住居の形態については、「2階建」が62.6%と最も多く、「1階建」が28.6%、「3階建」が2.3%となっている。



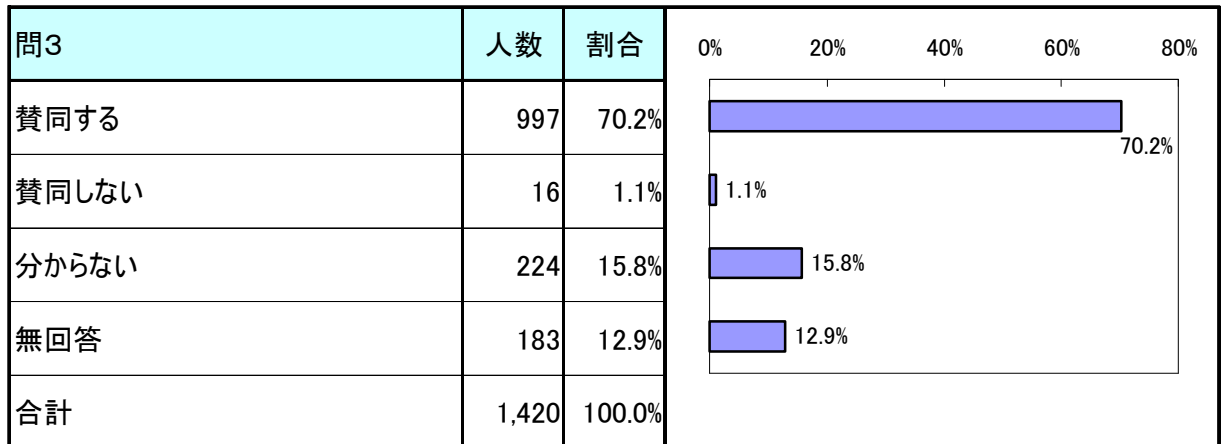
集合住宅の建物の階数については、「6階建以上」が37.0%と最も多く、次いで「5階建」が24.4%、「2階建」が12.6%となっている。



集合住宅の居住している階数については、「2階」が25.2%と最も多く、次いで「1階」が22.5%、「6階以上」が20.6%となっている。

2 セーフコミュニティについて

問3 セーフコミュニティは、「事故やけがなどは偶然の結果ではなく、未然に防ぐことができる」という理念に基づいた安全向上の取組です。あなたは、この考えについてどう思いますか。(ひとつに○)



セーフコミュニティの考えについては、「賛同する」が70.2%となっている。

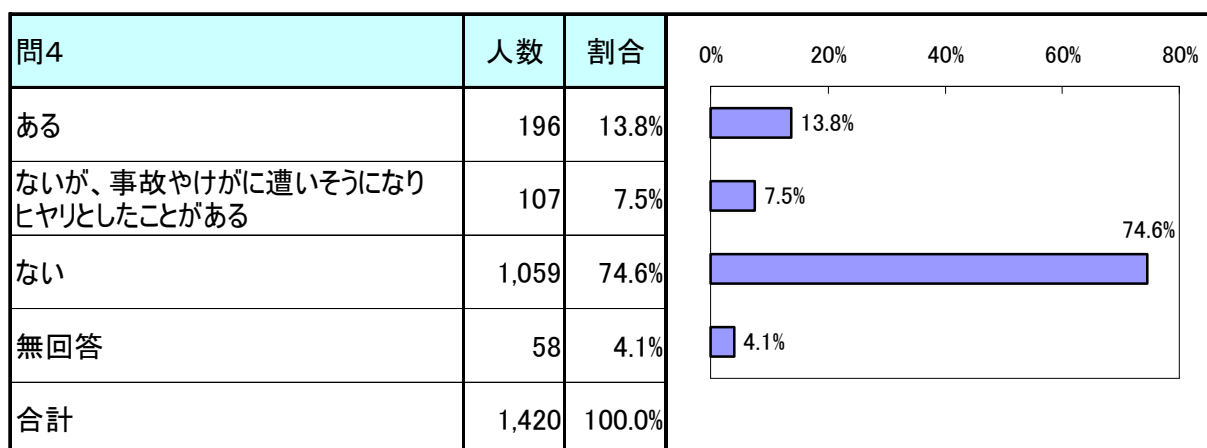
【属性別特徴】

性別では、男の「賛同する」が74.9%で、女の65.4%に比べてやや高くなっている。年齢別では、大きな違いはみられない。

問3	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
賛同する	997	70.2%	553	74.9%	439	65.4%	528	72.6%	435	68.9%
賛同しない	16	1.1%	10	1.4%	5	0.7%	11	1.5%	2	0.3%
分からない	224	15.8%	97	13.1%	127	18.9%	110	15.1%	104	16.5%
無回答	183	12.9%	78	10.6%	100	14.9%	78	10.7%	90	14.3%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

3 あなたのこの1年間（平成23年8月～平成24年7月）の「事故やけが」の状況についてお聞きします。この場合の事故やけがとは、交通事故、転倒、転落、おぼれた、やけどなどをいいます。（捻挫、打撲などで、医療機関にかからなかったものも対象とします。）

問4 あなたは、この1年間に事故やけがの経験がありますか。（ひとつに○）



1年間の事故やけがの経験については、「ある」が13.8%、「ないが、事故やけがに遭いそうになりヒヤリとしたことがある」が7.5%、「ない」が74.6%となっている。

【属性別特徴】

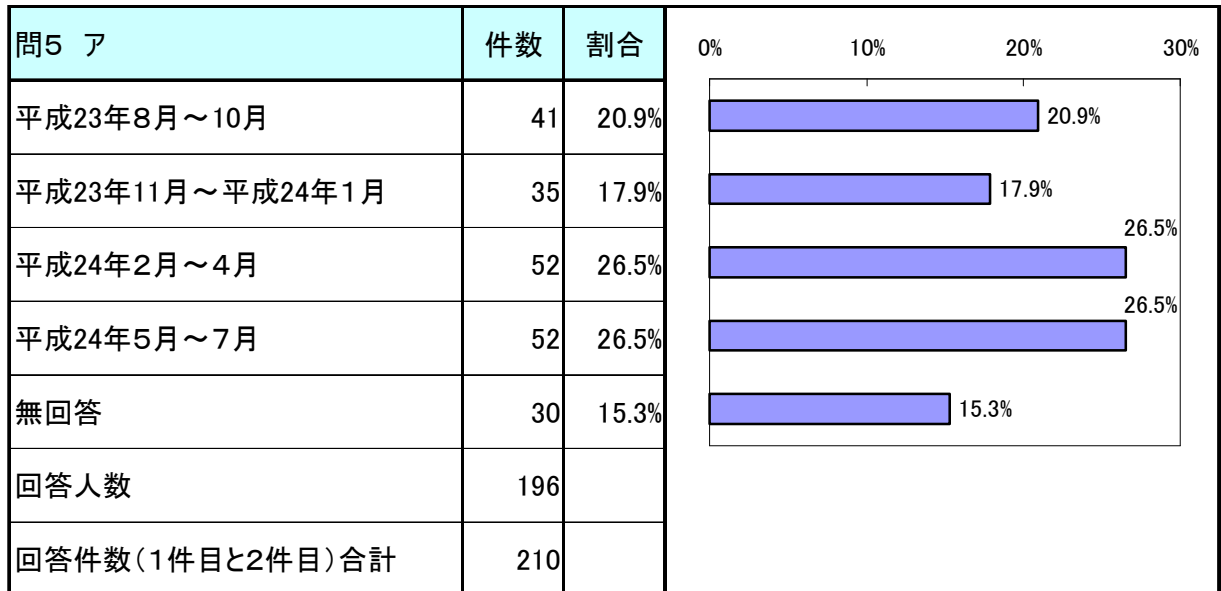
性別では、大きな違いはみられない。

年齢別では、75歳以上の「ある」が17.3%で、65歳～74歳の10.9%に比べてやや高くなっている。

問4	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ある	196	13.8%	88	11.9%	107	15.9%	79	10.9%	109	17.3%
ないが、事故やけがに遭いそうになりヒヤリとしたことがある	107	7.5%	57	7.7%	50	7.5%	60	8.3%	46	7.3%
ない	1,059	74.6%	568	77.0%	483	72.0%	562	77.3%	451	71.5%
無回答	58	4.1%	25	3.4%	31	4.6%	26	3.6%	25	4.0%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

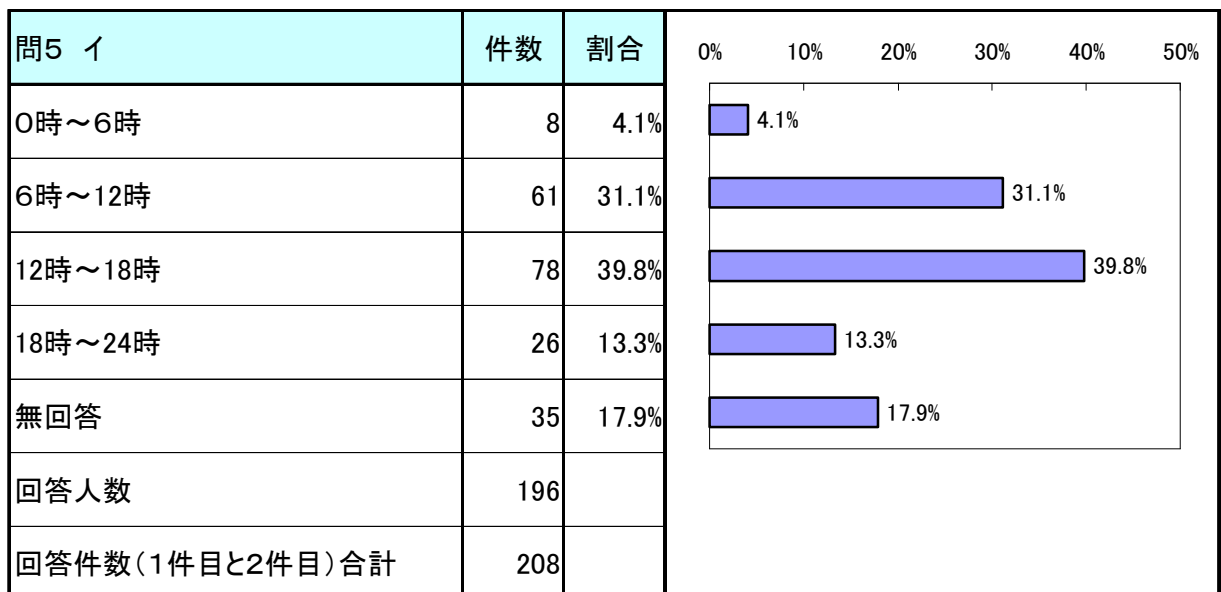
問5 あなたのこの1年間（平成23年8月～平成24年7月）にあった事故やけがについて、ア～サをそれぞれ1つずつ、該当する番号でご回答ください。事故やけがの経験が複数ある場合は、最大2件までご回答ください。

問5 ア 事故やけがをした時期



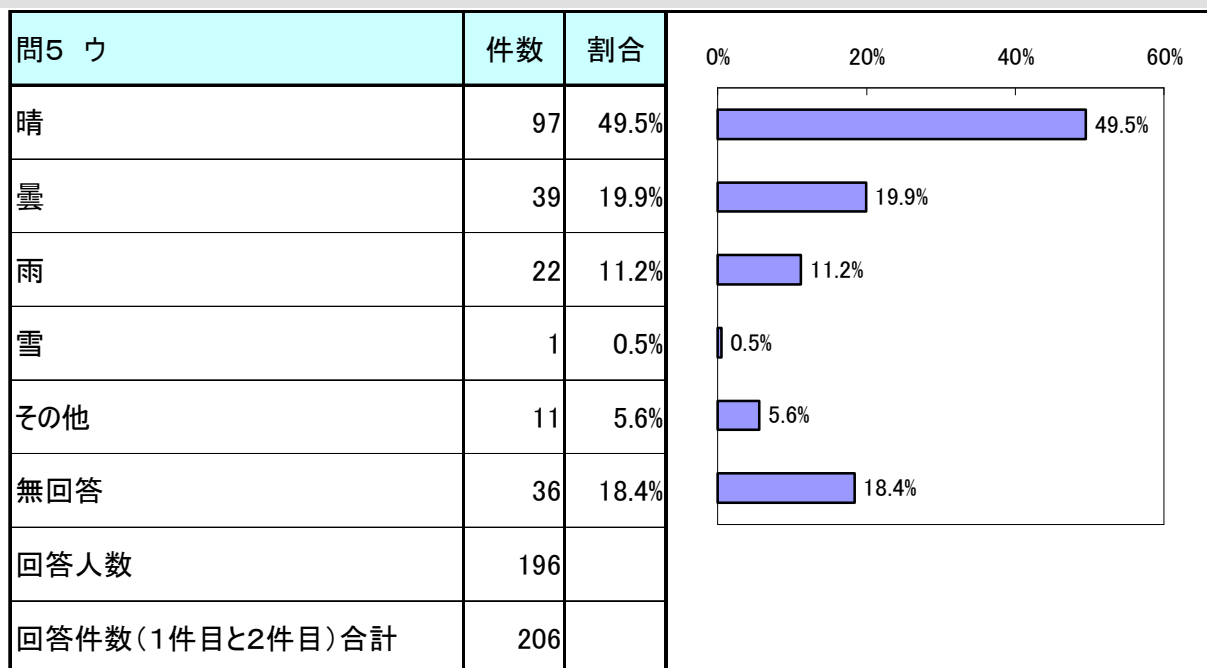
事故やけがをした時期については、「平成24年2月～4月」と「平成24年5月～7月」が26.5%と最も多く、次いで「平成23年8月～10月」が20.9%、「平成23年11月～平成24年1月」が17.9%となっている。

問5 イ 事故やけがをした時間



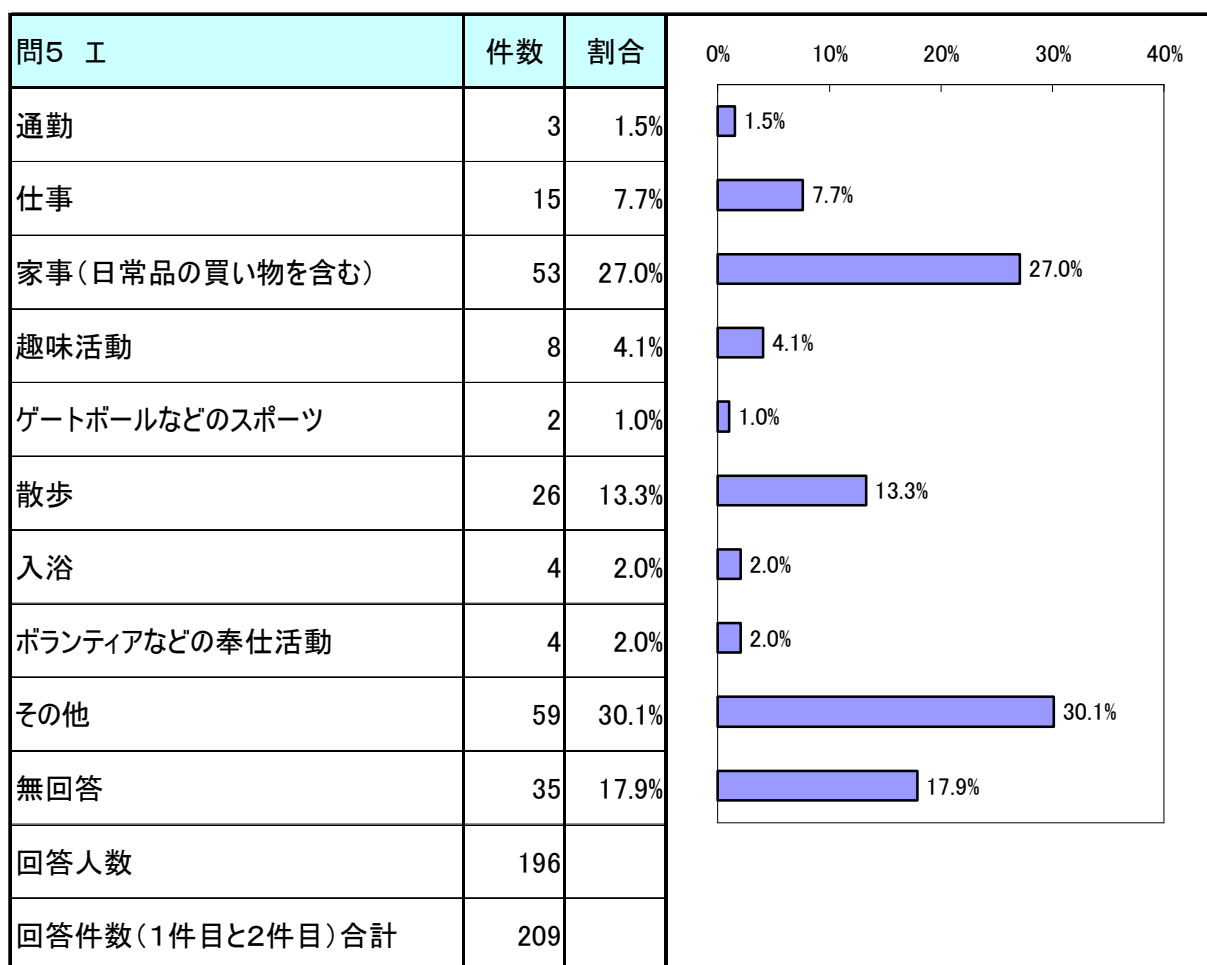
事故やけがをした時間については、「12時～18時」が39.8%と最も多く、「6時～12時」が31.1%、「18時～24時」が13.3%となっている。

問5 ウ 事故やけがをしたときの天気



事故やけがをした時の天気については、「晴」が49.5%と最も多く、「曇」が19.9%、「雨」が11.2%となっている。

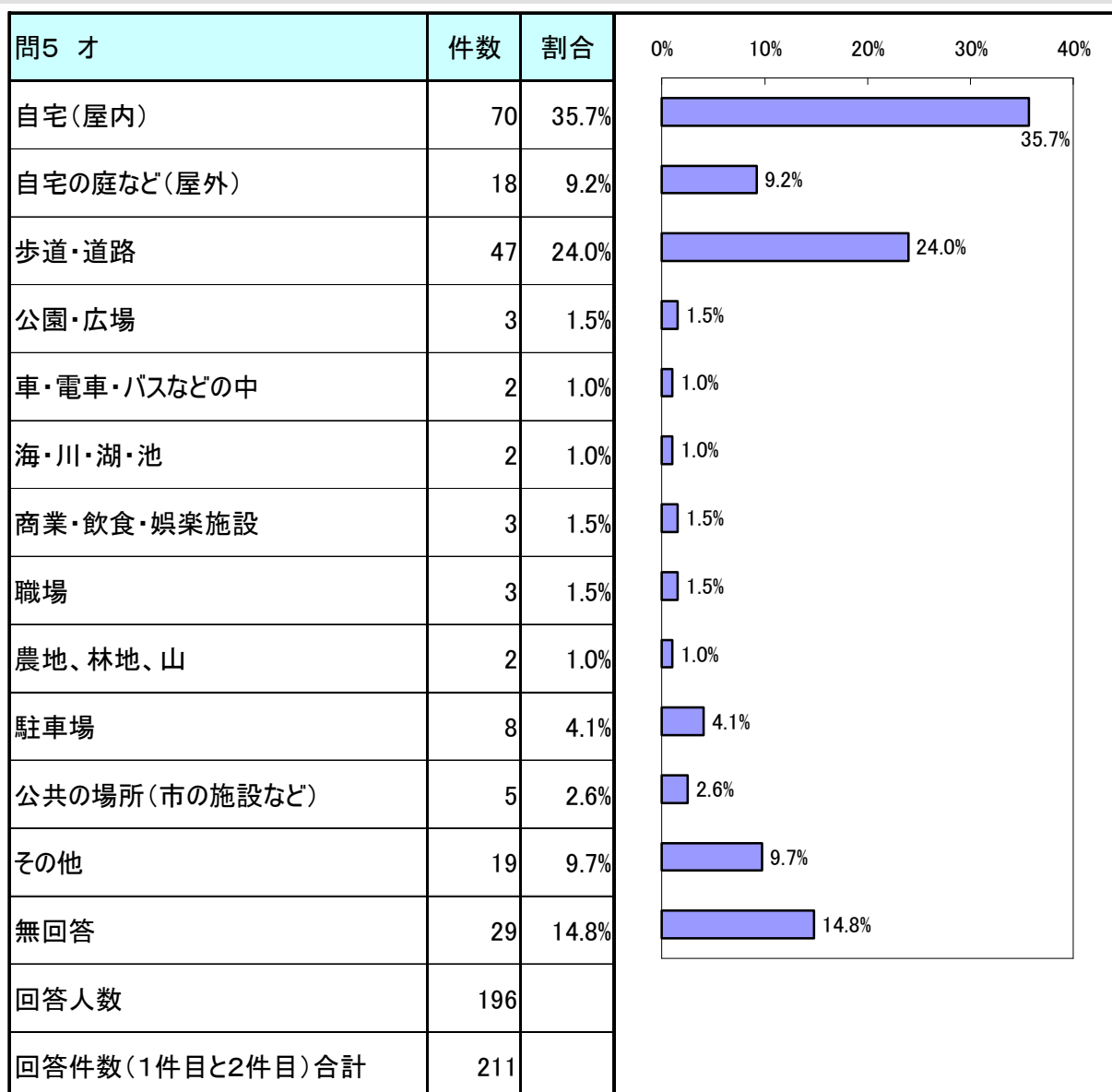
問5 エ 事故やけがをしたときの状況



事故やけがをした時の状況については、「家事(日常品の買い物を含む)」が27.0%、「散歩」が13.3%、「仕事」が7.7%となっている。

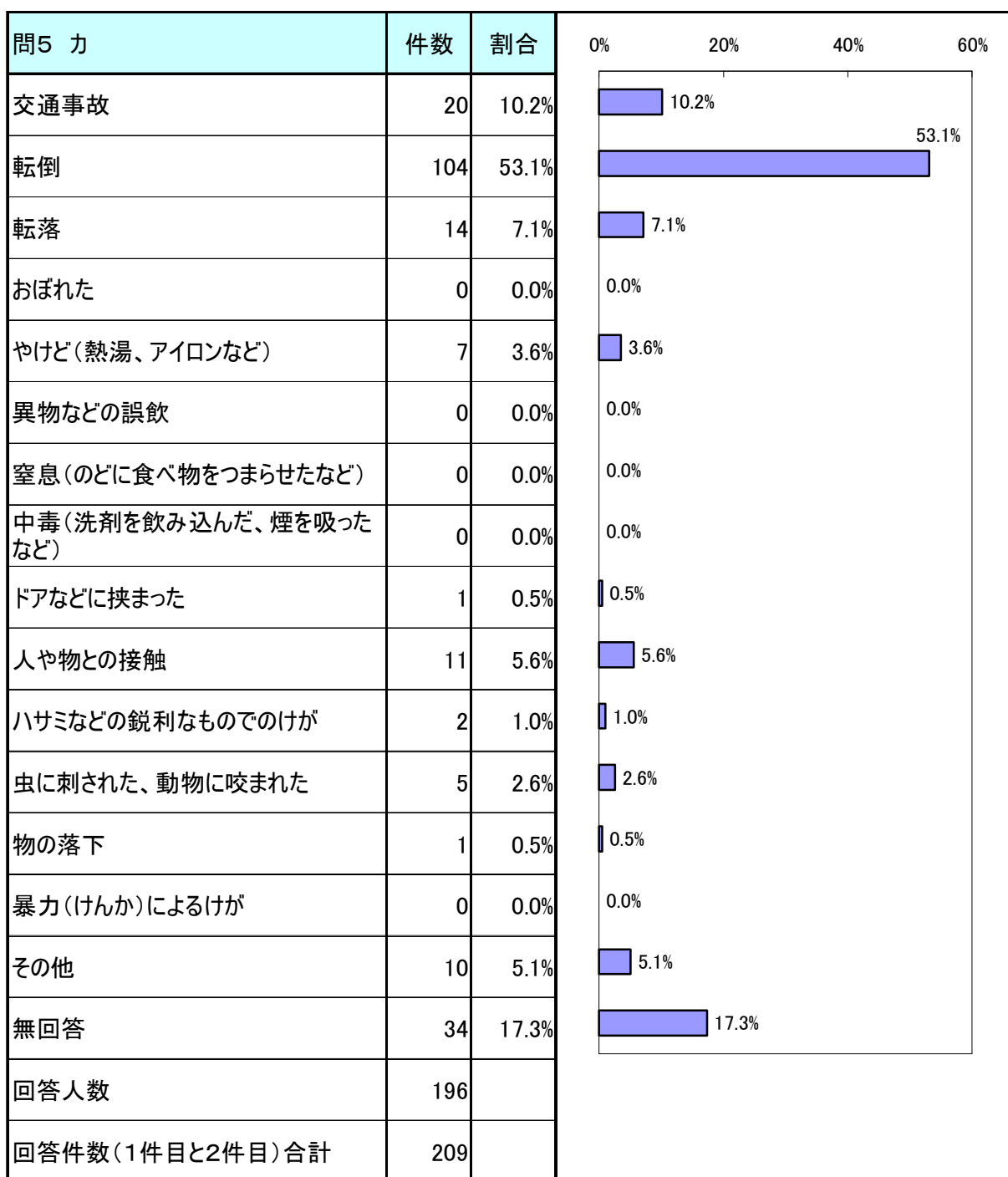
「その他」の具体的な内容としては、「食事中」、「畑作業」等が挙げられた。

問5 オ 事故やけがをした場所



事故やけがをした場所については、「自宅(屋内)」が35.7%と最も多く、「歩道・道路」が24.0%、「自宅の庭など(屋外)」が9.2%となっている。

問5 カ 事故やけがの種類



事故やけがの種類については、「転倒」が 53.1%と最も多く、「交通事故」が 10.2%、「転落」が 7.1%となっている。

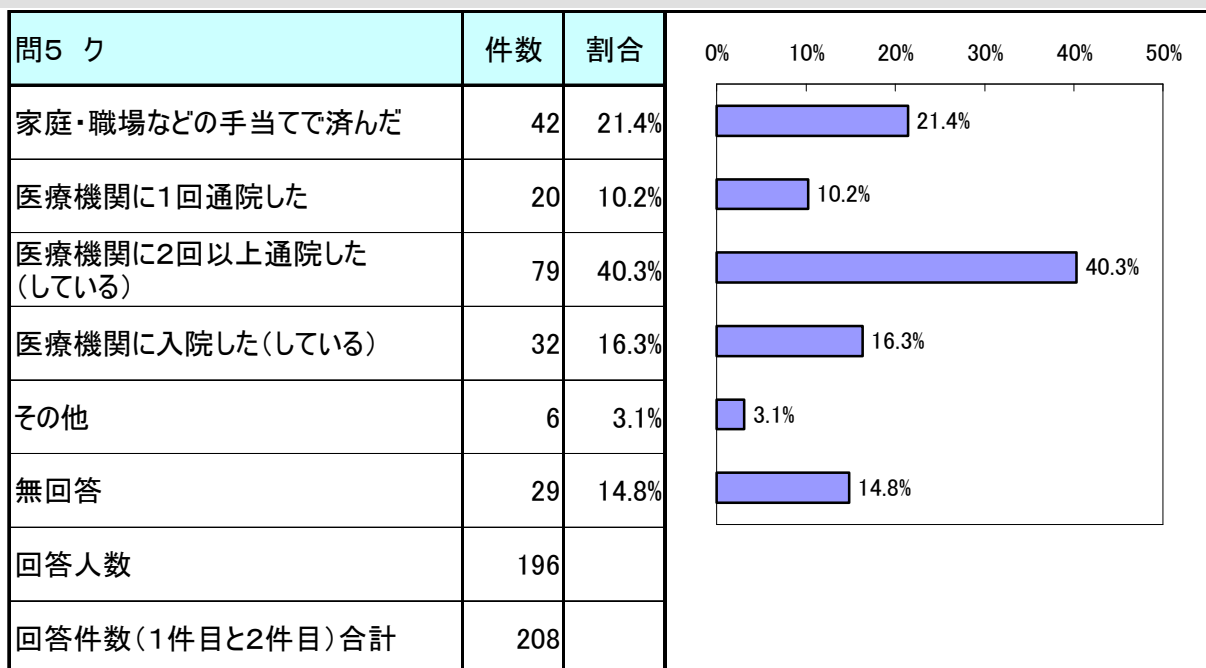
「その他」の具体的な内容としては、「重い物を持ち上げて腰を痛めた」等が挙げられた。

問5 キ けがの状況

問5 キ	件数	割合	
骨折・ひび	51	26.0%	26.0%
ねんざ・脱臼・突き指	19	9.7%	9.7%
打撲・うちみ	60	30.6%	30.6%
切り傷・刺し傷・すり傷	21	10.7%	10.7%
やけど	7	3.6%	3.6%
刺され傷・咬まれ傷	5	2.6%	2.6%
その他	14	7.1%	7.1%
無回答	30	15.3%	15.3%
回答人数	196		
回答件数(1件目と2件目)合計	207		

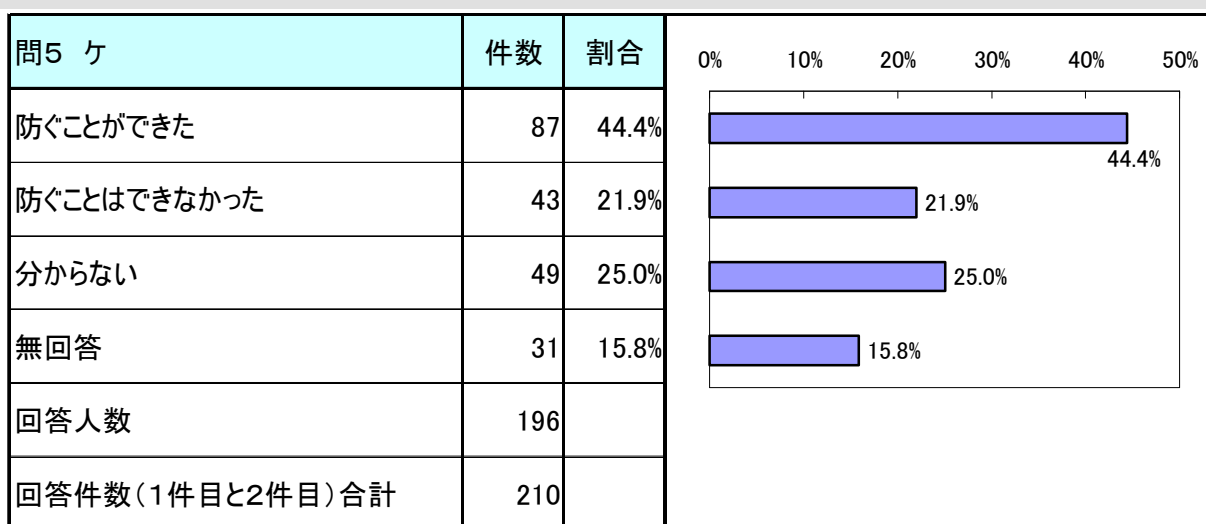
けがの状況については、「打撲・うちみ」が30.6%と最も多く、「骨折・ひび」が26.0%、「切り傷・刺し傷・すり傷」が10.7%となっている。

問5 ク 医療機関の受診



医療機関の受診については、「医療機関に2回以上通院した(している)」が40.3%と最も多く、次いで「家庭・職場などの手当てで済んだ」が21.4%、「医療機関に入院した(している)」が16.3%となっている。

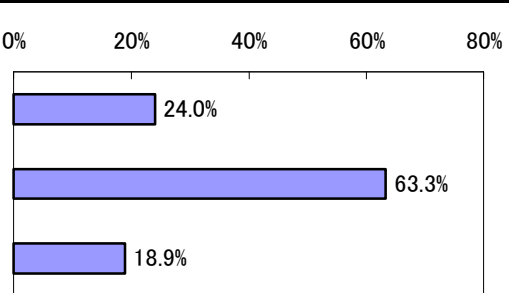
問5 ケ 未然に防ぐことができた可能性



未然に防ぐことができた可能性については、「防ぐことができた」が44.4%と最も多く、次いで「分からない」が25.0%、「防ぐことはできなかった」が21.9%となっている。

問5 コ 薬（風邪薬、鎮痛剤など）の服用状況

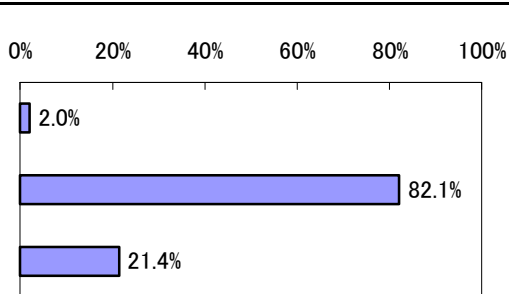
問5 コ	件数	割合
薬を飲んでいて	47	24.0%
薬は飲んでいない	124	63.3%
無回答	37	18.9%
回答人数	196	
回答件数(1件目と2件目)合計	208	



薬の服用状況については、「薬を飲んでいて」が24.0%、「薬は飲んでいない」が63.3%となっている。

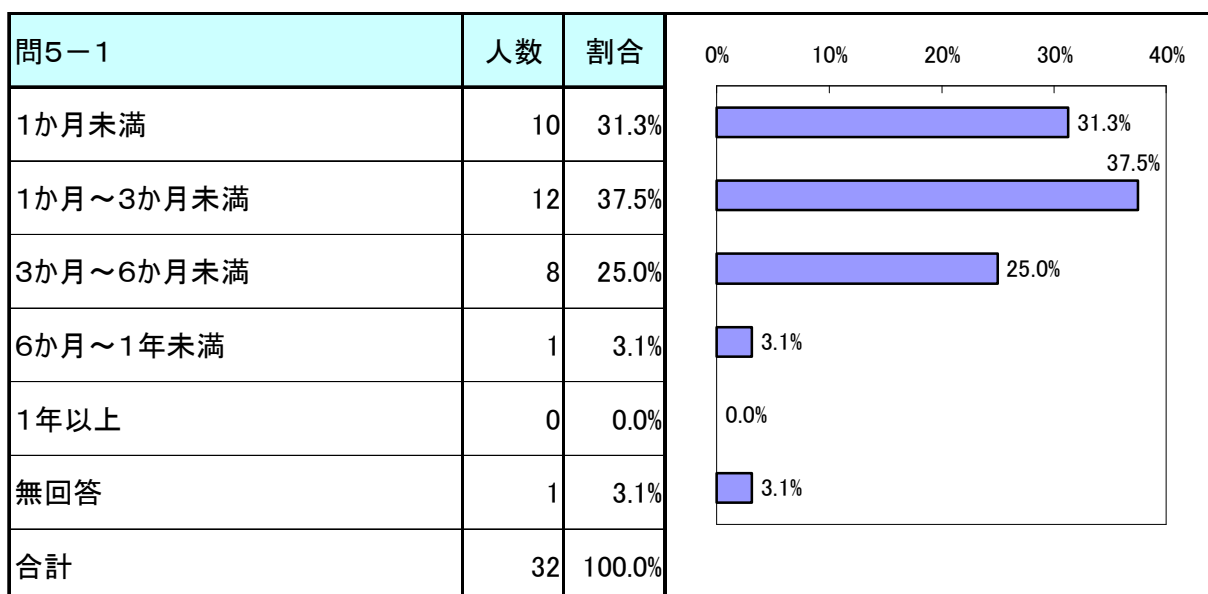
問5 サ 飲酒の有無

問5 サ	件数	割合
お酒を飲んでいて	4	2.0%
お酒は飲んでいない	161	82.1%
無回答	42	21.4%
回答人数	196	
回答件数(1件目と2件目)合計	207	



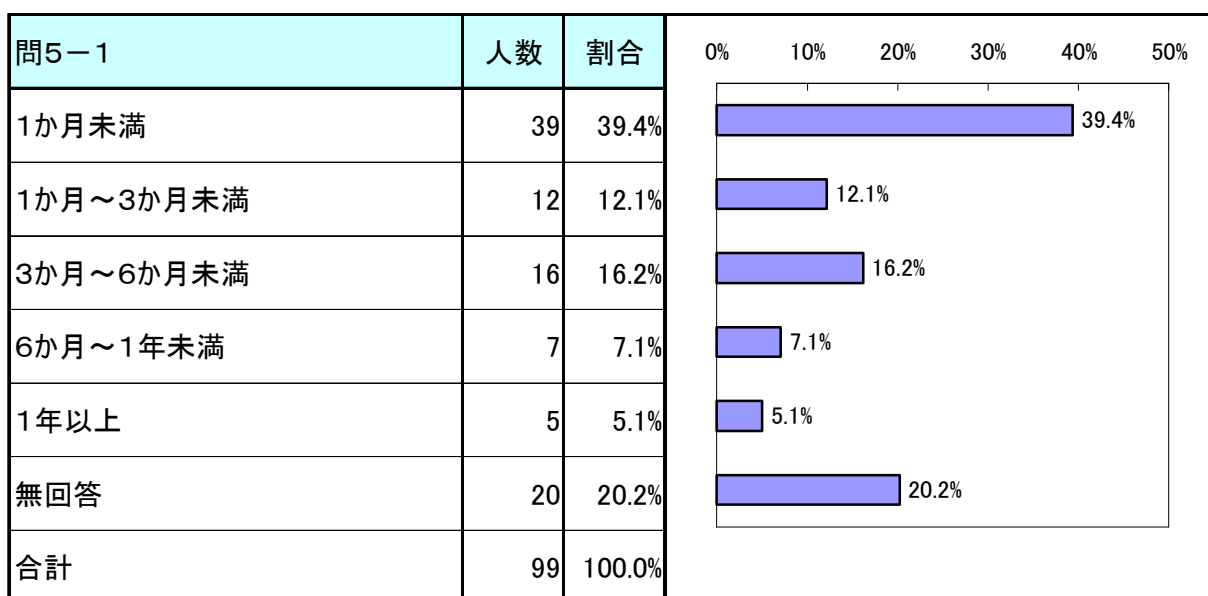
飲酒については、「お酒を飲んでいて」が2.0%、「お酒は飲んでいない」が82.1%となっている。

問5-1 医療機関にはどのくらい入院されました(されています)か。(ひとつに○)



入院については、「1か月～3か月未満」が37.5%と最も多く、次いで「1か月未満」が31.3%、「3か月～6か月未満」が25.0%となっている。

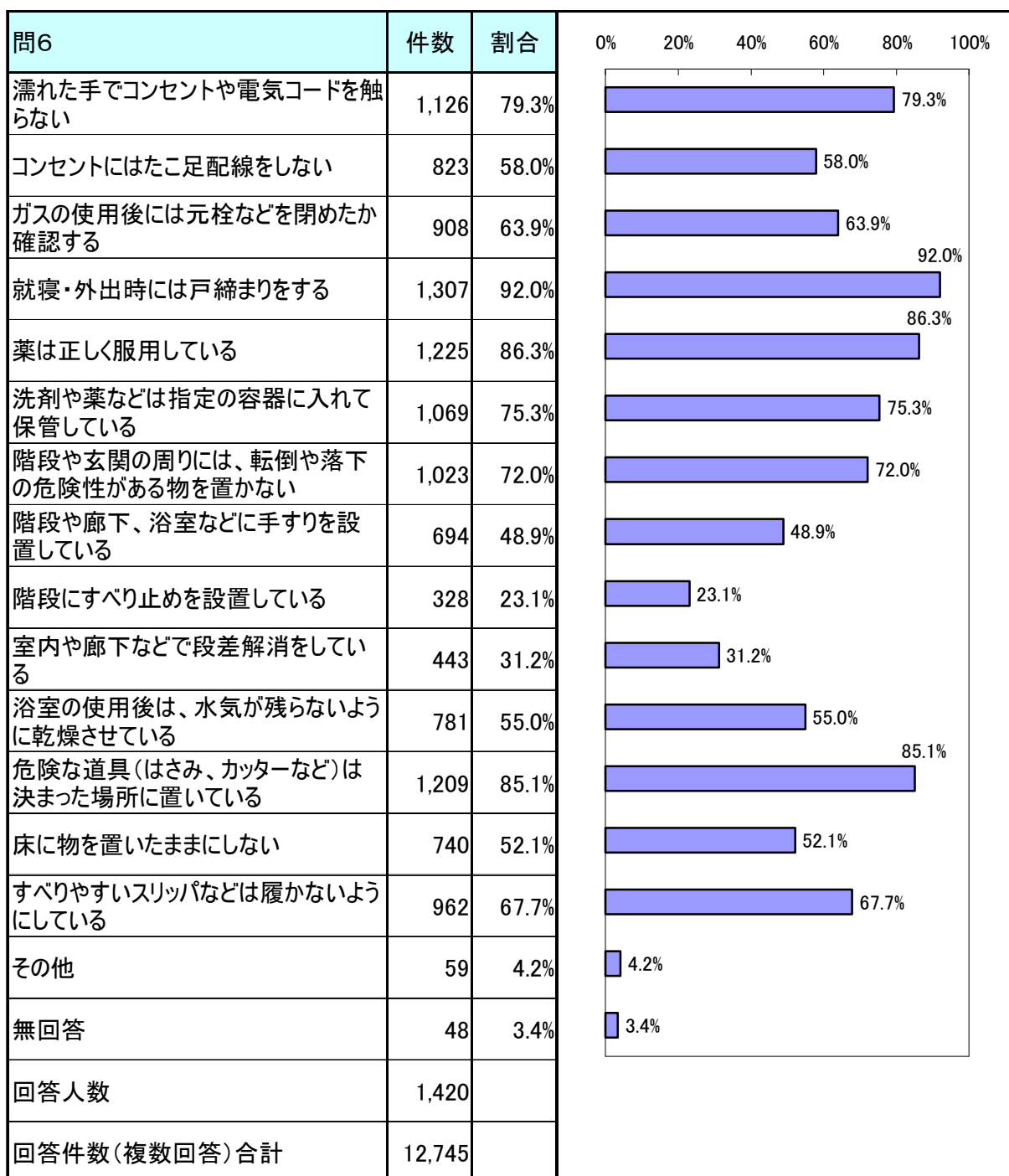
問5-1 医療機関にはどのくらい通院されました(されています)か。(ひとつに○)



通院については、「1か月未満」が39.4%と最も多く、「3か月～6か月未満」が16.2%、「1か月～3か月未満」が12.1%となっている。

4 家庭の安全対策に関する考え方について

問6 あなたの家庭の安全対策に関して、実践しているものをご回答ください。
(あてはまるものすべてに○)



家庭で実践している安全対策については、「就寝・外出時には戸締まりをする」が92.0%と最も多く、次いで「薬は正しく服用している」が86.3%、「危険な道具(はさみ、カッターなど)は決まった場所に置いている」が85.1%となっている。

「その他」の具体的な内容としては、「高いところに物を置かない」、「階段の段差に光るテープを貼っている」等が挙げられた。

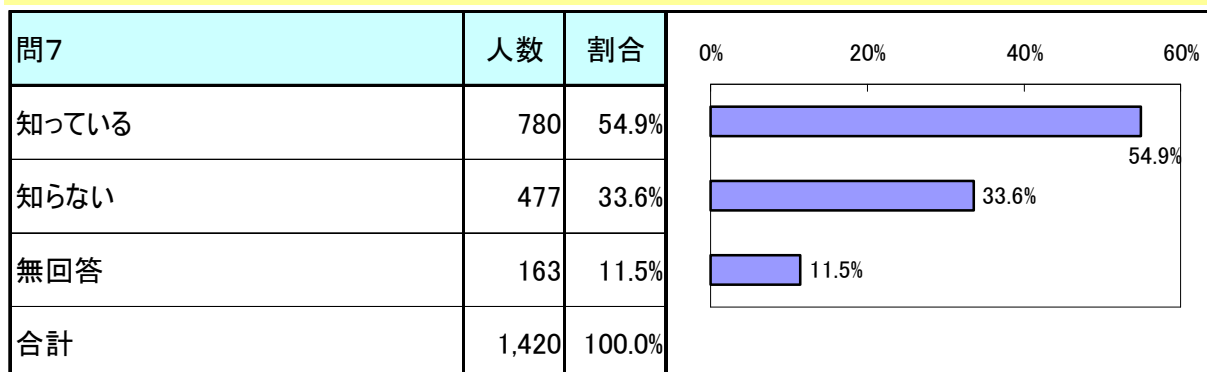
【属性別特徴】

性別では、女の「すべりやすいスリッパなどは履かないようにしている」が74.7%で、男の61.8%に比べて高くなっている。また、女の「階段や玄関の周りには、転倒や落下の危険性がある物を置かない」が76.3%で、男の68.4%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、75歳以上の「階段や廊下、浴室などに手すりを設置している」が55.0%で、65歳～74歳の44.6%に比べて高くなっている。また、75歳以上の「ガスの使用後は元栓などを閉めたか確認する」が66.9%で、65歳～74歳の60.5%に比べてやや高くなっている。

問6	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
濡れた手でコンセントや電気コードを触らない	1,126	79.3%	568	77.0%	550	82.0%	582	80.1%	500	79.2%
コンセントにはたこ足配線をしない	823	58.0%	414	56.1%	402	59.9%	427	58.7%	364	57.7%
ガスの使用後は元栓などを閉めたか確認する	908	63.9%	453	61.4%	449	66.9%	440	60.5%	422	66.9%
就寝・外出時には戸締まりをする	1,307	92.0%	682	92.4%	616	91.8%	684	94.1%	572	90.6%
薬は正しく服用している	1,225	86.3%	638	86.4%	579	86.3%	628	86.4%	549	87.0%
洗剤や薬などは指定の容器に入れて保管している	1,069	75.3%	529	71.7%	534	79.6%	546	75.1%	482	76.4%
階段や玄関の周りには、転倒や落下の危険性がある物を置かない	1,023	72.0%	505	68.4%	512	76.3%	523	71.9%	460	72.9%
階段や廊下、浴室などに手すりを設置している	694	48.9%	364	49.3%	327	48.7%	324	44.6%	347	55.0%
階段にすべり止めを設置している	328	23.1%	178	24.1%	148	22.1%	152	20.9%	162	25.7%
室内や廊下などで段差解消をしている	443	31.2%	210	28.5%	231	34.4%	215	29.6%	212	33.6%
浴室の使用後は、水気が残らないように乾燥させている	781	55.0%	405	54.9%	371	55.3%	416	57.2%	331	52.5%
危険な道具(はさみ、カッターなど)は決まった場所に置いている	1,209	85.1%	607	82.2%	594	88.5%	634	87.2%	526	83.4%
床に物を置いたままにしない	740	52.1%	363	49.2%	372	55.4%	367	50.5%	341	54.0%
すべりやすいスリッパなどは履かないようにしている	962	67.7%	456	61.8%	501	74.7%	482	66.3%	445	70.5%
その他	59	4.2%	32	4.3%	27	4.0%	28	3.9%	30	4.8%
無回答	48	3.4%	25	3.4%	21	3.1%	15	2.1%	25	4.0%
回答人数	1,420		738		671		727		631	
回答件数(複数回答)合計	12,745		6,429		6,234		6,463		5,768	

問7 防災、防犯、事故防止などに関する情報を掲載した冊子「わが家の安心安全ガイドブック」を平成24年3月に各世帯に配付しておりますがご存知ですか。
(ひとつに○)



「わが家の安心安全ガイドブック」の認知度については、「知っている」が54.9%、「知らない」が33.6%となっている。

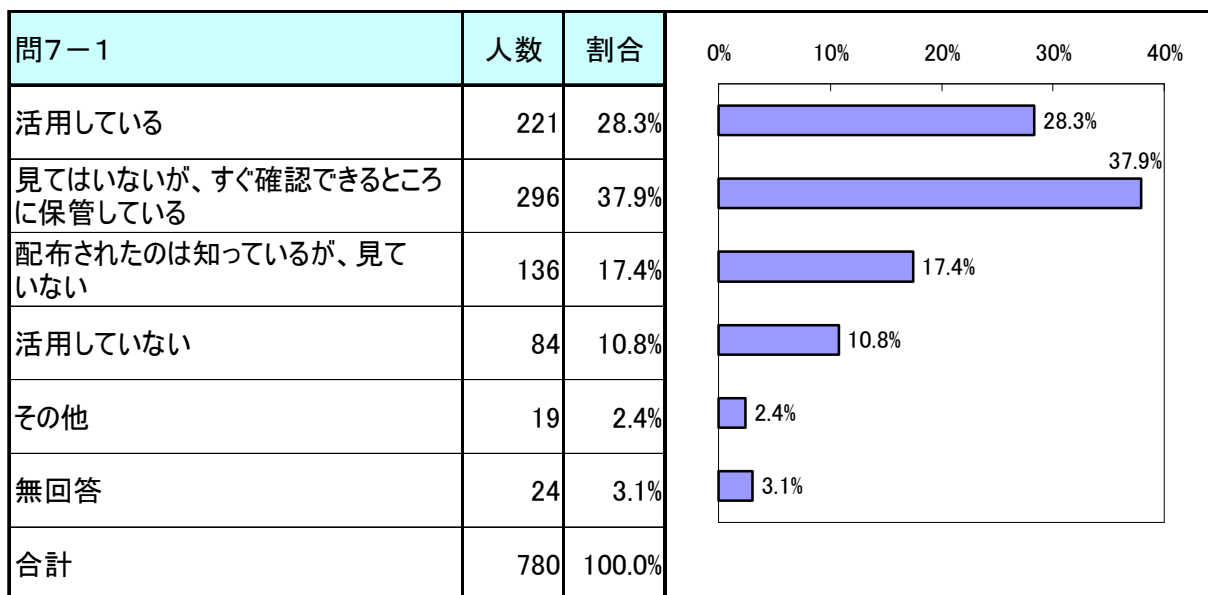
【属性別特徴】

性別では、大きな違いはみられない。

年齢別では、65歳～74歳の「知っている」が57.9%で、75歳以上の52.1%に比べてやや高くなっている。

問7	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	780	54.9%	402	54.5%	376	56.0%	421	57.9%	329	52.1%
知らない	477	33.6%	264	35.8%	207	30.8%	235	32.3%	219	34.7%
無回答	163	11.5%	72	9.8%	88	13.1%	71	9.8%	83	13.2%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問7-1 「わが家の安心安全ガイドブック」を活用していますか。(ひとつに○)



「わが家の安心安全ガイドブック」の活用については、「見てはないが、すぐ活用できるところに保管している」が37.9%と最も多く、次いで「活用している」が28.3%、「配布されたのは知っているが、見ていない」が17.4%となっている。

「その他」の具体的な内容としては、「見て、すぐ確認できる所に保管している」等が挙げられた。

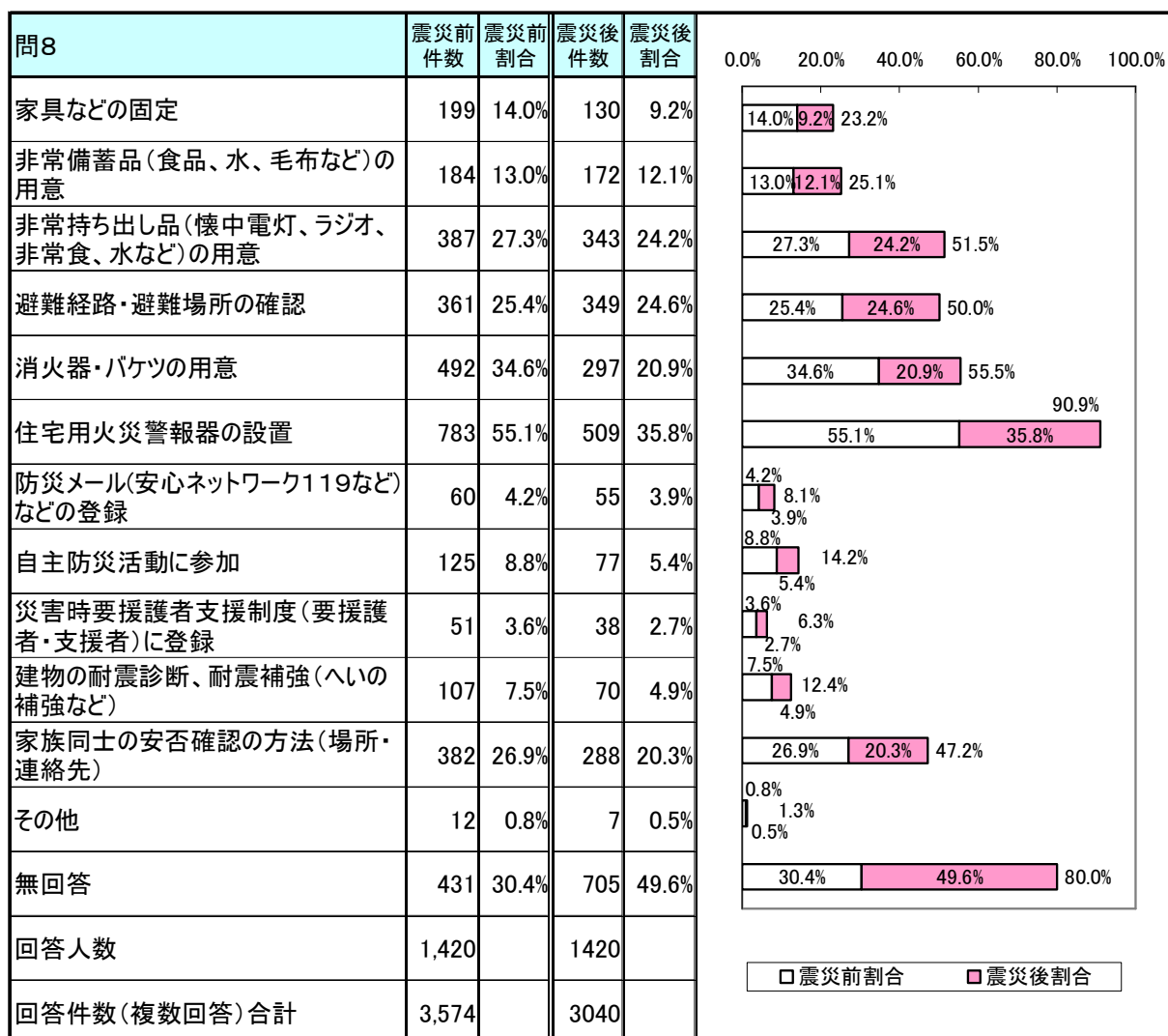
【属性別特徴】

性別では、女の「見てはいないが、すぐ確認できるところに保管している」が43.4%で、男の32.8%に比べて高くなっている。また、男の「活用している」が32.6%で、女の23.7%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、75歳以上の「活用している」が33.7%で、65歳～74歳の24.9%に比べてやや高くなっている。

問7-1	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
活用している	221	28.3%	131	32.6%	89	23.7%	105	24.9%	111	33.7%
見てはいないが、すぐ確認できるところに保管している	296	37.9%	132	32.8%	163	43.4%	160	38.0%	121	36.8%
配布されたのは知っているが、見ていない	136	17.4%	77	19.2%	59	15.7%	82	19.5%	48	14.6%
活用していない	84	10.8%	37	9.2%	47	12.5%	50	11.9%	31	9.4%
その他	19	2.4%	8	2.0%	11	2.9%	13	3.1%	6	1.8%
無回答	24	3.1%	17	4.2%	7	1.9%	11	2.6%	12	3.6%
合計	780	100.0%	402	100.0%	376	100.0%	421	100.0%	329	100.0%

問8 あなたの家庭では、災害に備えて、東日本大震災の前はどのような対策をとっていましたか。また、東日本大震災後は新たにどのような対策をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)



家庭での災害対策としては、設置が義務づけられた「住宅用火災警報器の設置」が震災前・後を通じて一番多くなっている。

その他の災害対策については、「避難経路・避難場所の確認」や「非常持ち出し品(懐中電灯、ラジオ、非常食、水など)の用意」が多くなっている。

また、「防災メール(安心ネットワーク119など)などの登録」や「自主防災活動に参加」などについては、取組みの割合が低くなっている。

「震災前」

【属性別特徴】

性別では、男の「非常持ち出し品（懐中電灯、ラジオ、非常食、水など）の用意」が30.5%で、女の23.4%に比べてやや高くなっている。また、男の「消火器・バケツの用意」が37.3%で、女の31.7%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、大きな違いはみられない。

問8 震災前	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
家具などの固定	199	14.0%	121	16.4%	78	11.6%	102	14.0%	88	13.9%
非常備蓄品（食品、水、毛布など）の用意	184	13.0%	96	13.0%	86	12.8%	98	13.5%	79	12.5%
非常持ち出し品（懐中電灯、ラジオ、非常食、水など）の用意	387	27.3%	225	30.5%	157	23.4%	199	27.4%	174	27.6%
避難経路・避難場所の確認	361	25.4%	196	26.6%	162	24.1%	185	25.4%	164	26.0%
消火器・バケツの用意	492	34.6%	275	37.3%	213	31.7%	266	36.6%	208	33.0%
住宅用火災警報器の設置	783	55.1%	426	57.7%	351	52.3%	418	57.5%	333	52.8%
防災メール（安心ネットワーク119など）などの登録	60	4.2%	29	3.9%	31	4.6%	34	4.7%	23	3.6%
自主防災活動に参加	125	8.8%	77	10.4%	46	6.9%	64	8.8%	56	8.9%
災害時要援護者支援制度（要援護者・支援者）に登録	51	3.6%	30	4.1%	21	3.1%	21	2.9%	30	4.8%
建物の耐震診断、耐震補強（へいの補強など）	107	7.5%	60	8.1%	46	6.9%	55	7.6%	48	7.6%
家族同士の安否確認の方法（場所・連絡先）	382	26.9%	199	27.0%	180	26.8%	185	25.4%	180	28.5%
その他	12	0.8%	7	0.9%	5	0.7%	3	0.4%	8	1.3%
無回答	431	30.4%	211	28.6%	215	32.0%	194	26.7%	210	33.3%
回答人数	1,420		738		671		727		631	
回答件数（複数回答）合計	3,574		1,952		1,591		1,824		1,601	

「震災後」

【属性別特徴】

性別では、大きな違いはみられない。

年齢別では、65歳～74歳の「住宅用火災警報器の設置」が39.1%で、75歳以上の32.6%に比べてやや高くなっている。また、65歳～74歳の「非常持ち出し品（懐中電灯、ラジオ、非常食、水など）の用意」が27.4%で、75歳以上の21.1%に比べてやや高くなっている。

問8 震災後	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
家具などの固定	130	9.2%	82	11.1%	47	7.0%	73	10.0%	51	8.1%
非常備蓄品（食品、水、毛布など）の用意	172	12.1%	77	10.4%	94	14.0%	105	14.4%	59	9.4%
非常持ち出し品（懐中電灯、ラジオ、非常食、水など）の用意	343	24.2%	181	24.5%	160	23.8%	199	27.4%	133	21.1%
避難経路・避難場所の確認	349	24.6%	175	23.7%	173	25.8%	199	27.4%	140	22.2%
消火器・バケツの用意	297	20.9%	161	21.8%	134	20.0%	162	22.3%	119	18.9%
住宅用火災警報器の設置	509	35.8%	259	35.1%	249	37.1%	284	39.1%	206	32.6%
防災メール（安心ネットワーク119など）などの登録	55	3.9%	28	3.8%	26	3.9%	36	5.0%	15	2.4%
自主防災活動に参加	77	5.4%	45	6.1%	32	4.8%	47	6.5%	28	4.4%
災害時要援護者支援制度（要援護者・支援者）に登録	38	2.7%	20	2.7%	17	2.5%	21	2.9%	16	2.5%
建物の耐震診断、耐震補強（へいの補強など）	70	4.9%	38	5.1%	32	4.8%	40	5.5%	29	4.6%
家族同士の安否確認の方法（場所・連絡先）	288	20.3%	144	19.5%	143	21.3%	159	21.9%	116	18.4%
その他	7	0.5%	3	0.4%	3	0.4%	3	0.4%	3	0.5%
無回答	705	49.6%	375	50.8%	323	48.1%	319	43.9%	351	55.6%
回答人数	1,420		738		671		727		631	
回答件数（複数回答）合計	3,040		1,588		1,433		1,647		1,266	

問9 その他、ご家族で「事故やけが」を防止するために、工夫していることなどありましたら、ご記入ください。

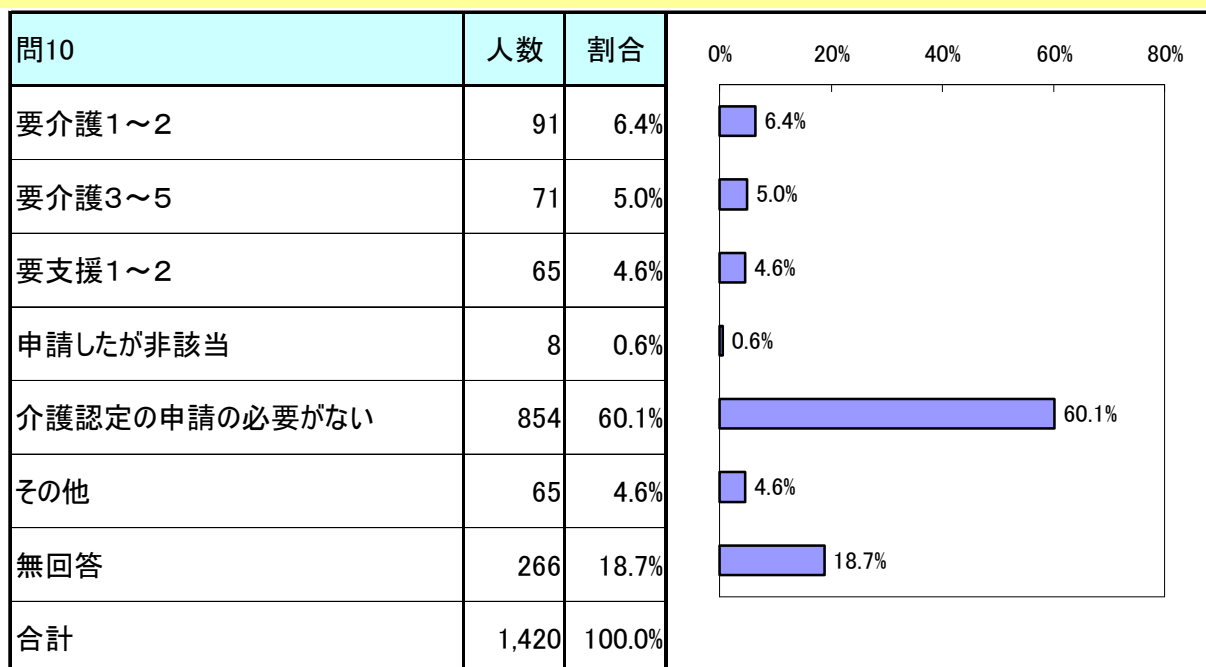
【事故やけが防止の工夫(主な項目)】

項目	具体例
注意喚起	・家族に注意を呼びかける。
	・常に気を付けて行動する。
	・何事も落ち着いて行動する。
	・交通安全を守る。
環境改善	・玄関・トイレ・浴室・廊下・ベッドなどに手すりを設置。
	・玄関の縁側に高さがあるため踏台を設置。
	・床に物を置かない。(特に滑りやすいもの)
	・刃物・薬品などの管理保管に注意している。
体力・健康づくり	・転倒防止のため体操(ストレッチ)をしている。
	・早寝早起など、規則正しい生活を心掛けている。
	・毎日歩いている。
交通安全	・右側通行で歩道を歩く。
	・安全運転を心がける。
	・遠くても横断歩道を利用する。
コンセント、ガス等に対する注意	・ガスをつけている時は離れない。
	・使わないコンセントを抜く。

事故やけが防止の工夫については、「家族に注意を呼びかける」、「常に気を付けて行動する」などの『注意喚起』に関することや、「玄関・トイレ・浴室・廊下・ベッドなどに手すりを設置」、「玄関の縁側に高さがあるため踏台を設置」などの『環境改善』に関することや、「転倒防止のため体操(ストレッチ)をしている」、「早寝早起など、規則正しい生活を心掛けている」などの『体力・健康づくり』に関することなどが挙げられた。

5 日常生活について

問10 あなたは、介護保険の介護認定を受けていますか。(ひとつに○)



介護認定については、「介護認定の申請の必要がない」が60.1%と最も多く、「要介護1～2」が6.4%、「要介護3～5」が5.0%となっている。

【属性別特徴】

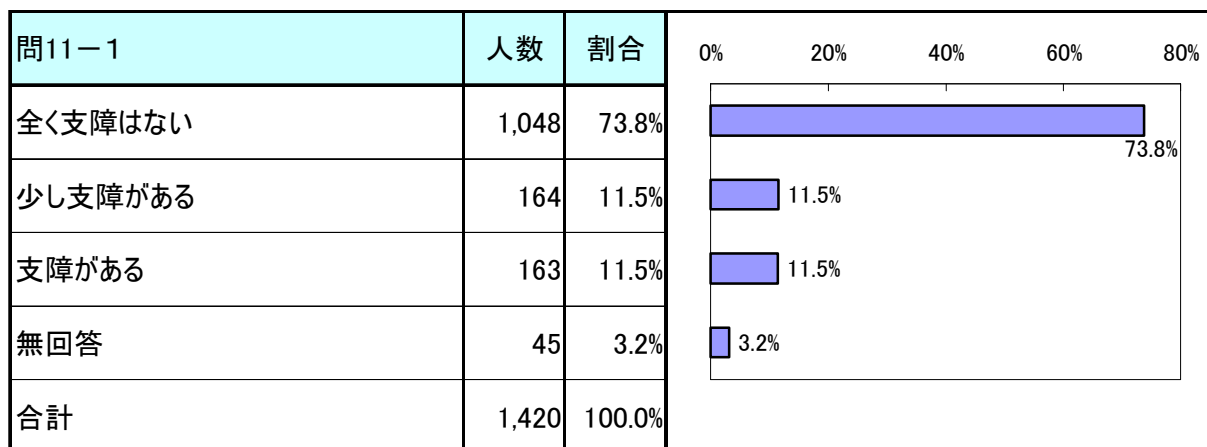
性別では、女の「要介護1～2」と「要介護3～5」と「要支援1～2」の合計が20.4%で、男の合計の12.2%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、75歳以上の「要介護1～2」と「要介護3～5」と「要支援1～2」の合計が29.8%で、65歳～74歳の合計の4.7%に比べて高くなっている。

問10	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
要介護1～2	91	6.4%	36	4.9%	55	8.2%	12	1.7%	77	12.2%
要介護3～5	71	5.0%	28	3.8%	43	6.4%	13	1.8%	56	8.9%
要支援1～2	65	4.6%	26	3.5%	39	5.8%	9	1.2%	55	8.7%
申請したが非該当	8	0.6%	6	0.8%	2	0.3%	3	0.4%	5	0.8%
介護認定の申請の必要がない	854	60.1%	482	65.3%	368	54.8%	531	73.0%	294	46.6%
その他	65	4.6%	32	4.3%	32	4.8%	32	4.4%	29	4.6%
無回答	266	18.7%	128	17.3%	132	19.7%	127	17.5%	115	18.2%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問11 あなたの普段の日常生活にかかわる動作についてお聞きします。次の問11-1～問11-12の動作について、支障なく行うことができますか。

問11-1 一人での外出（ひとつに○）



一人での外出については「全く支障はない」が73.8%と最も多く、次いで「少し支障がある」と「支障がある」が11.5%となっている。

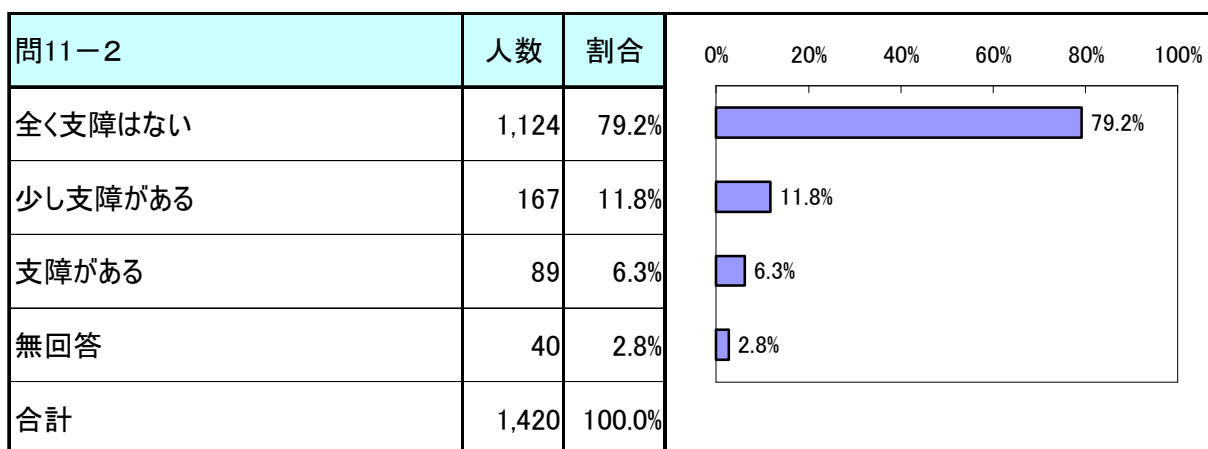
【属性別特徴】

性別では、女の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が29.0%で、男の合計の18.0%に比べて高くなっている。

年齢別では、75歳以上の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が38.2%で、65歳～74歳の合計の10.2%に比べて高くなっている。

問11-1	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全く支障はない	1,048	73.8%	584	79.1%	454	67.7%	640	88.0%	360	57.1%
少し支障がある	164	11.5%	69	9.3%	95	14.2%	42	5.8%	118	18.7%
支障がある	163	11.5%	64	8.7%	99	14.8%	32	4.4%	123	19.5%
無回答	45	3.2%	21	2.8%	23	3.4%	13	1.8%	30	4.8%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問11-2 室内歩行（ひとつに○）



室内歩行については、「全く支障はない」が79.2%と最も多く、次いで「少し支障がある」が11.8%、「支障がある」が6.3%となっている。

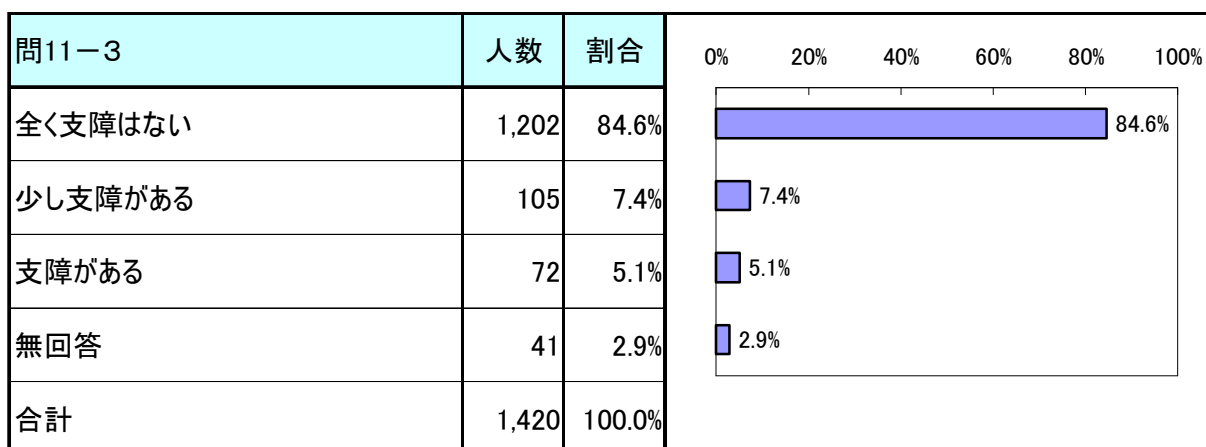
【属性別特徴】

性別では、女の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が22.9%で、男の合計の13.8%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、75歳以上の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が29.3%で、65歳～74歳の合計の8.7%に比べて高くなっている。

問11-2	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全く支障はない	1,124	79.2%	618	83.7%	496	73.9%	650	89.4%	423	67.0%
少し支障がある	167	11.8%	67	9.1%	100	14.9%	43	5.9%	117	18.5%
支障がある	89	6.3%	35	4.7%	54	8.0%	20	2.8%	68	10.8%
無回答	40	2.8%	18	2.4%	21	3.1%	14	1.9%	23	3.6%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問11-3 トイレの利用（ひとつに○）



トイレの利用については、「全く支障はない」が84.6%と最も多く、次いで「少し支障がある」が7.4%、「支障がある」が5.1%となっている。

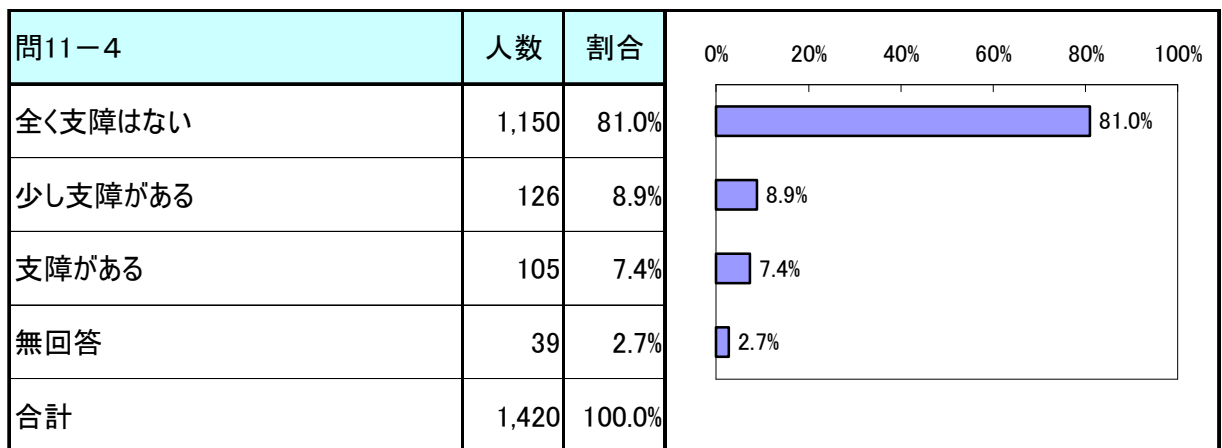
【属性別特徴】

性別では、大きな違いはみられない。

年齢別では、75歳以上の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が20.0%で、65歳～74歳の合計の5.9%に比べて高くなっている。

問11-3	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全く支障はない	1,202	84.6%	643	87.1%	549	81.8%	669	92.0%	483	76.5%
少し支障がある	105	7.4%	48	6.5%	57	8.5%	25	3.4%	73	11.6%
支障がある	72	5.1%	30	4.1%	42	6.3%	18	2.5%	53	8.4%
無回答	41	2.9%	17	2.3%	23	3.4%	15	2.1%	22	3.5%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問11-4 入浴（ひとつに○）



入浴については、「全く支障はない」が81.0%と最も多く、次いで「少し支障がある」が8.9%、「支障がある」が7.4%となっている。

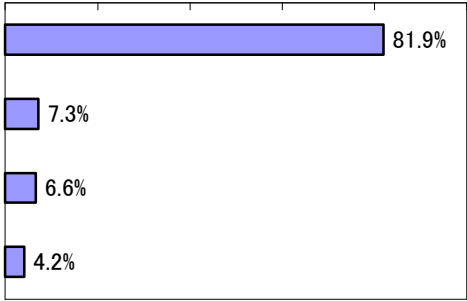
【属性別特徴】

性別では、女の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が20.8%で、男の合計の12.3%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、75歳以上の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が26.5%で、65歳～74歳の合計の7.6%に比べて高くなっている。

問11-4	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全く支障はない	1,150	81.0%	628	85.1%	512	76.3%	659	90.6%	441	69.9%
少し支障がある	126	8.9%	52	7.0%	74	11.0%	34	4.7%	87	13.8%
支障がある	105	7.4%	39	5.3%	66	9.8%	21	2.9%	80	12.7%
無回答	39	2.7%	19	2.6%	19	2.8%	13	1.8%	23	3.6%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問11-5 シャワー（ひとつに○）

問11-5	人数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
全く支障はない	1,163	81.9%							81.9%
少し支障がある	103	7.3%							7.3%
支障がある	94	6.6%							6.6%
無回答	60	4.2%							4.2%
合計	1,420	100.0%							

シャワーについては「全く支障はない」が81.9%と最も多く、次いで「少し支障がある」が7.3%、「支障がある」が6.6%となっている。

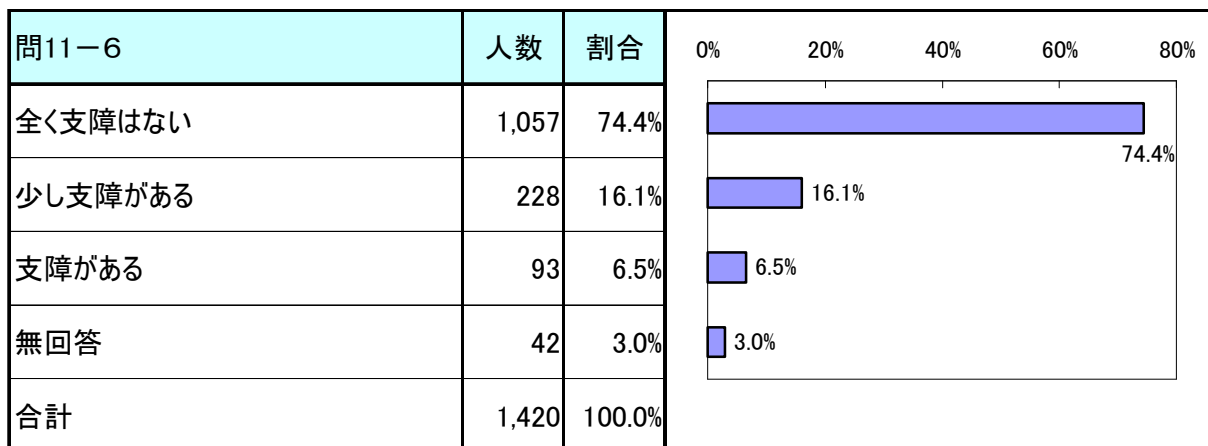
【属性別特徴】

性別では、女の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が17.7%で、男の合計の10.6%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、75歳以上の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が23.0%で、65歳～74歳の合計の6.4%に比べて高くなっている。

問11-5	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全く支障はない	1,163	81.9%	633	85.8%	520	77.5%	665	91.5%	446	70.7%
少し支障がある	103	7.3%	42	5.7%	61	9.1%	26	3.6%	73	11.6%
支障がある	94	6.6%	36	4.9%	58	8.6%	20	2.8%	72	11.4%
無回答	60	4.2%	27	3.7%	32	4.8%	16	2.2%	40	6.3%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問11-6 椅子からの立ち上がり（ひとつに○）



椅子からの立ち上がりについては「全く支障はない」が74.4%と最も多く、次いで「少し支障がある」が16.1%、「支障がある」が6.5%となっている。

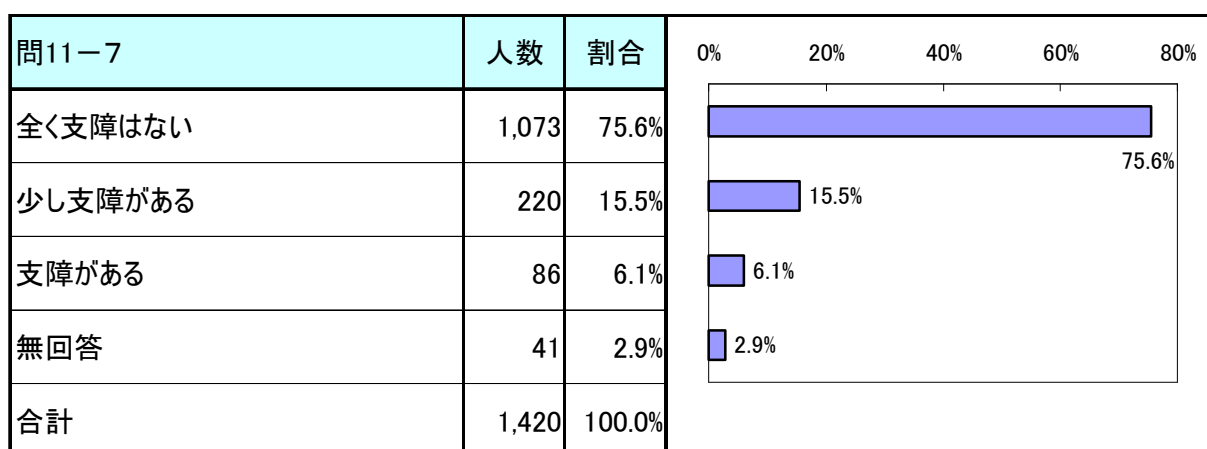
【属性別特徴】

性別では、女の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が28.1%で、男の合計の17.6%に比べて高くなっている。

年齢別では、75歳以上の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が35.5%で、65歳～74歳の合計の11.6%に比べて高くなっている。

問11-6	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全く支障はない	1,057	74.4%	589	79.8%	460	68.6%	629	86.5%	383	60.7%
少し支障がある	228	16.1%	93	12.6%	133	19.8%	61	8.4%	157	24.9%
支障がある	93	6.5%	37	5.0%	56	8.3%	23	3.2%	67	10.6%
無回答	42	3.0%	19	2.6%	22	3.3%	14	1.9%	24	3.8%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問11-7 布団（ベッド）からの起き上がり（ひとつに○）



布団（ベッド）からの起き上がりについては「全く支障はない」が75.6%と最も多く、次いで「少し支障がある」が15.5%、「支障がある」が6.1%となっている。

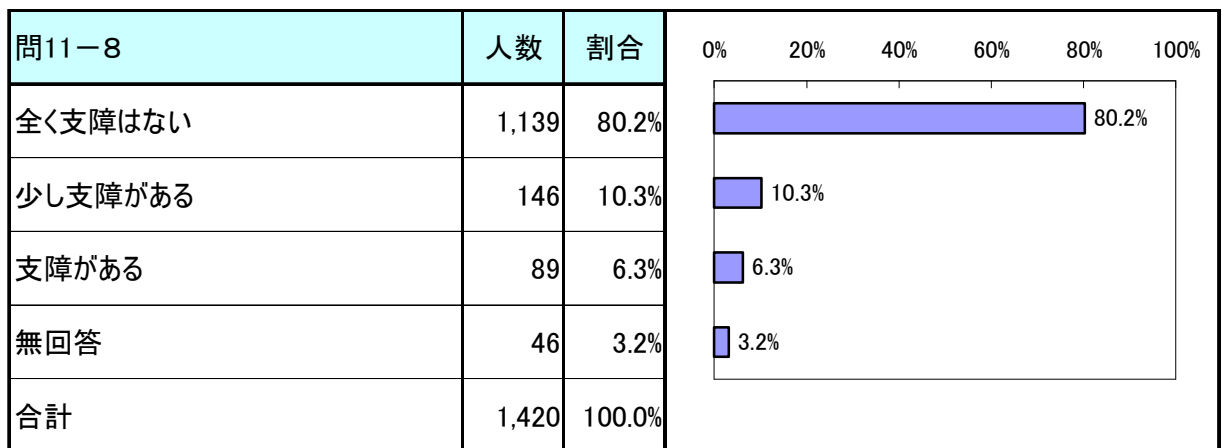
【属性別特徴】

性別では、女の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が25.4%で、男の合計の18.0%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、75歳以上の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が33.9%で、65歳～74歳の合計の10.9%に比べて高くなっている。

問11-7	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全く支障はない	1,073	75.6%	586	79.4%	479	71.4%	633	87.1%	394	62.4%
少し支障がある	220	15.5%	99	13.4%	119	17.7%	58	8.0%	153	24.2%
支障がある	86	6.1%	34	4.6%	52	7.7%	21	2.9%	61	9.7%
無回答	41	2.9%	19	2.6%	21	3.1%	15	2.1%	23	3.6%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問11-8 食器棚の中の物をとる（ひとつに○）



食器棚の中の物をとることについては、「全く支障はない」が80.2%と最も多く、次いで「少し支障がある」が10.3%、「支障がある」が6.3%となっている。

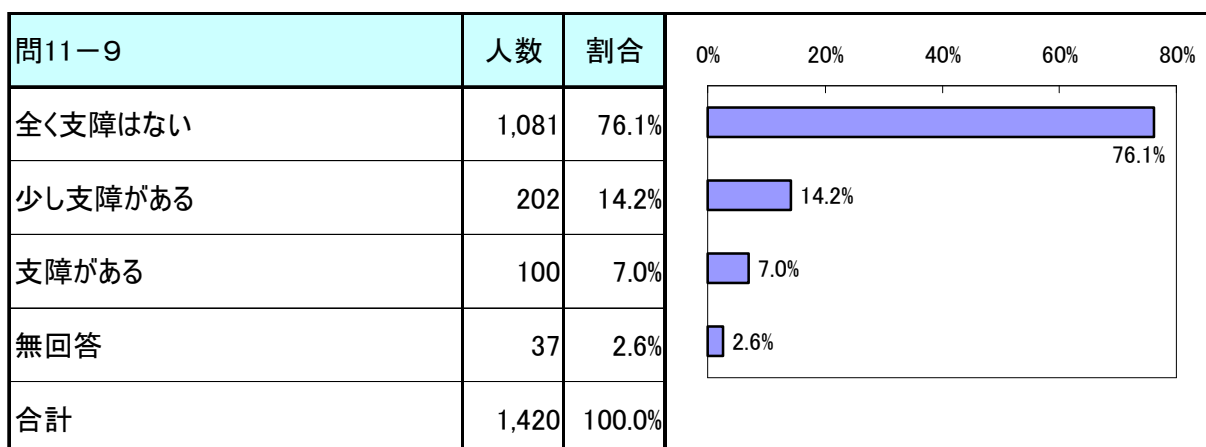
【属性別特徴】

性別では、女の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が20.8%で、男の合計の12.8%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、75歳以上の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が27.6%で、65歳～74歳の合計の7.1%に比べて高くなっている。

問11-8	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全く支障はない	1,139	80.2%	622	84.3%	507	75.6%	661	90.9%	429	68.0%
少し支障がある	146	10.3%	60	8.1%	86	12.8%	33	4.5%	107	17.0%
支障がある	89	6.3%	35	4.7%	54	8.0%	19	2.6%	67	10.6%
無回答	46	3.2%	21	2.8%	24	3.6%	14	1.9%	28	4.4%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問11-9 床に落ちた物を拾う（ひとつに○）



床に落ちた物を拾うについては、「全く支障はない」が76.1%と最も多く、次いで「少し支障がある」が14.2%、「支障がある」が7.0%となっている。

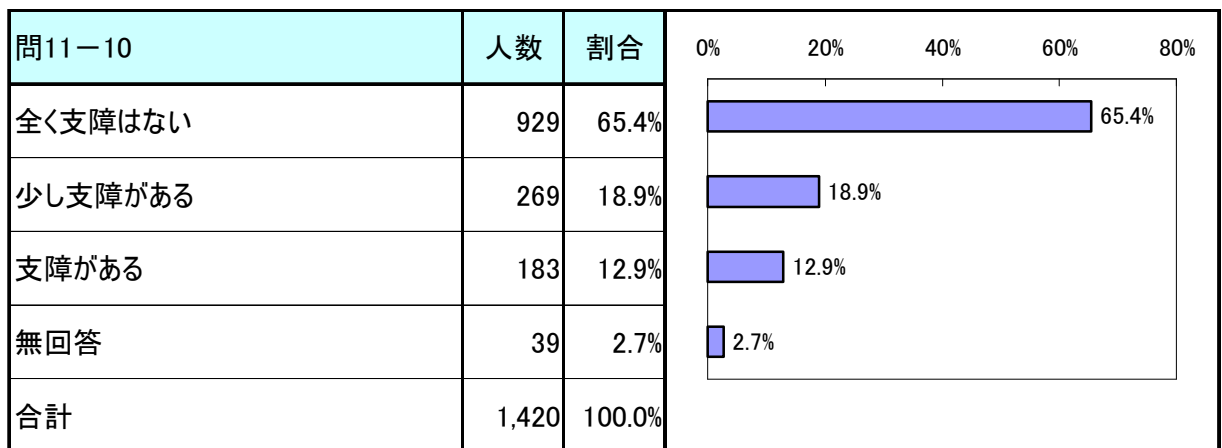
【属性別特徴】

性別では、女の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が26.0%で、男の合計の16.9%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、75歳以上の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が33.4%で、65歳～74歳の合計の11.0%に比べて高くなっている。

問11-9	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全く支障はない	1,081	76.1%	596	80.8%	477	71.1%	635	87.3%	398	63.1%
少し支障がある	202	14.2%	83	11.2%	117	17.4%	58	8.0%	137	21.7%
支障がある	100	7.0%	42	5.7%	58	8.6%	22	3.0%	74	11.7%
無回答	37	2.6%	17	2.3%	19	2.8%	12	1.7%	22	3.5%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問11-10 階段を上る（ひとつに○）



階段を上るについては、「全く支障はない」が65.4%と最も多く、次いで「少し支障がある」が18.9%、「支障がある」が12.9%となっている。

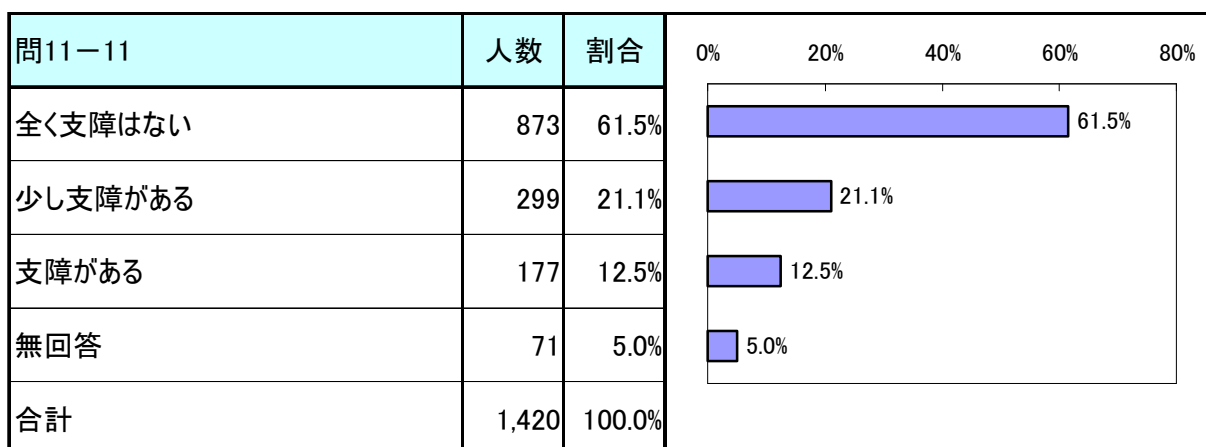
【属性別特徴】

性別では、女の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が38.7%で、男の合計の25.6%に比べて高くなっている。

年齢別では、75歳以上の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が49.1%で、65歳～74歳の合計の17.2%に比べて非常に高くなっている。

問11-10	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全く支障はない	929	65.4%	530	71.8%	392	58.4%	588	80.9%	299	47.4%
少し支障がある	269	18.9%	121	16.4%	145	21.6%	89	12.2%	170	26.9%
支障がある	183	12.9%	68	9.2%	115	17.1%	36	5.0%	140	22.2%
無回答	39	2.7%	19	2.6%	19	2.8%	14	1.9%	22	3.5%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問11-11 階段を下りる（ひとつに○）



階段を下りるについては、「全く支障はない」が61.5%と最も多く、次いで「少し支障がある」が21.1%、「支障がある」が12.5%となっている。

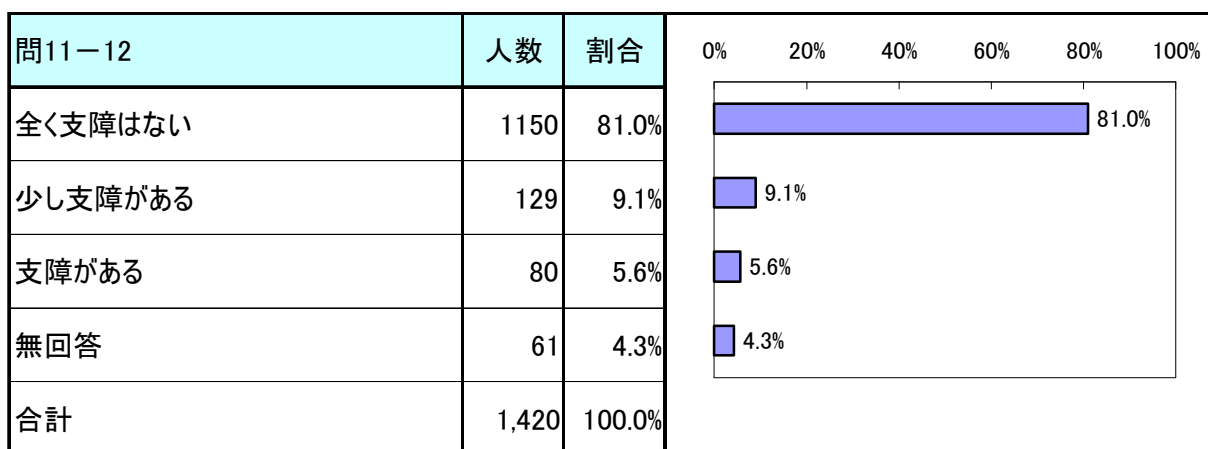
【属性別特徴】

性別では、女の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が42.7%で、男の合計の25.3%に比べて高くなっている。

年齢別では、75歳以上の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が50.3%で、65歳～74歳の合計の19.4%に比べて非常に高くなっている。

問11-11	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全く支障はない	873	61.5%	513	69.5%	352	52.5%	561	77.2%	271	42.9%
少し支障がある	299	21.1%	125	16.9%	172	25.6%	107	14.7%	181	28.7%
支障がある	177	12.5%	62	8.4%	115	17.1%	34	4.7%	136	21.6%
無回答	71	5.0%	38	5.1%	32	4.8%	25	3.4%	43	6.8%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問11-12 一人での着替え（ひとつに○）



一人で着替えるについては、「全く支障はない」が81.0%と最も多く、次いで「少し支障がある」が9.1%、「支障がある」が5.6%となっている。

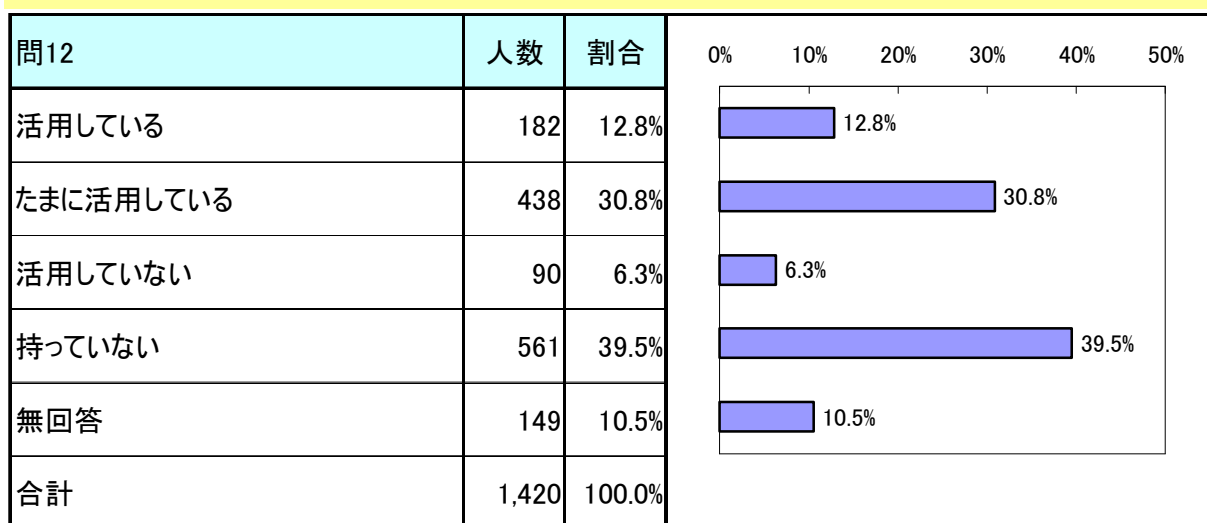
【属性別特徴】

性別では、女の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が18.6%で、男の合計の11.4%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、75歳以上の「少し支障がある」と「支障がある」の合計が24.2%で、65歳～74歳の合計の6.7%に比べて高くなっている。

問11-12	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全く支障はない	1150	81.0%	620	84.0%	520	77.5%	655	90.1%	444	70.4%
少し支障がある	129	9.1%	51	6.9%	78	11.6%	28	3.9%	96	15.2%
支障がある	80	5.6%	33	4.5%	47	7.0%	20	2.8%	57	9.0%
無回答	61	4.3%	34	4.6%	26	3.9%	24	3.3%	34	5.4%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問12 あなたは、夜間や薄暗いときの散歩などに、反射材がついたものを活用していますか。(ひとつに○)



反射材の活用については、「持っていない」が39.5%と最も多く、次いで「たまに活用している」が30.8%、「活用している」が12.8%となっている。

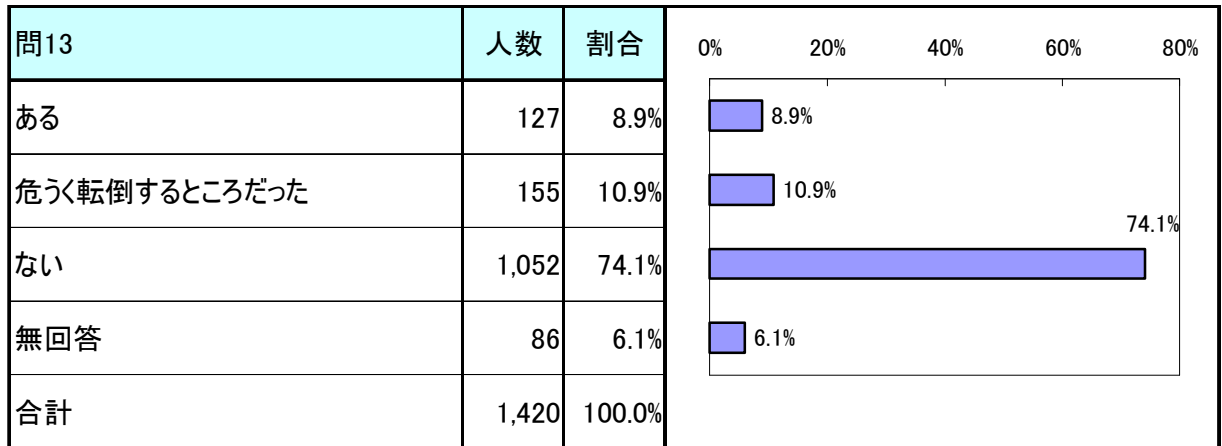
【属性別特徴】

性別では、大きな違いはみられない。

年齢別では、65歳～74歳の「活用している」と「たまに活用している」の合計が47.4%で、75歳以上の合計の39.0%に比べてやや高くなっている。

問12	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
活用している	182	12.8%	98	13.3%	80	11.9%	102	14.0%	71	11.3%
たまに活用している	438	30.8%	230	31.2%	205	30.6%	243	33.4%	175	27.7%
活用していない	90	6.3%	57	7.7%	33	4.9%	43	5.9%	44	7.0%
持っていない	561	39.5%	288	39.0%	270	40.2%	283	38.9%	257	40.7%
無回答	149	10.5%	65	8.8%	83	12.4%	56	7.7%	84	13.3%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問13 あなたは、この1年間（平成23年8月～平成24年7月）に、自宅で転倒した経験はありますか。（ひとつに○）



1年間に自宅で転倒した経験については、「ない」が74.1%と最も多く、次いで「危うく転倒するところだった」が10.9%、「ある」が8.9%となっている。

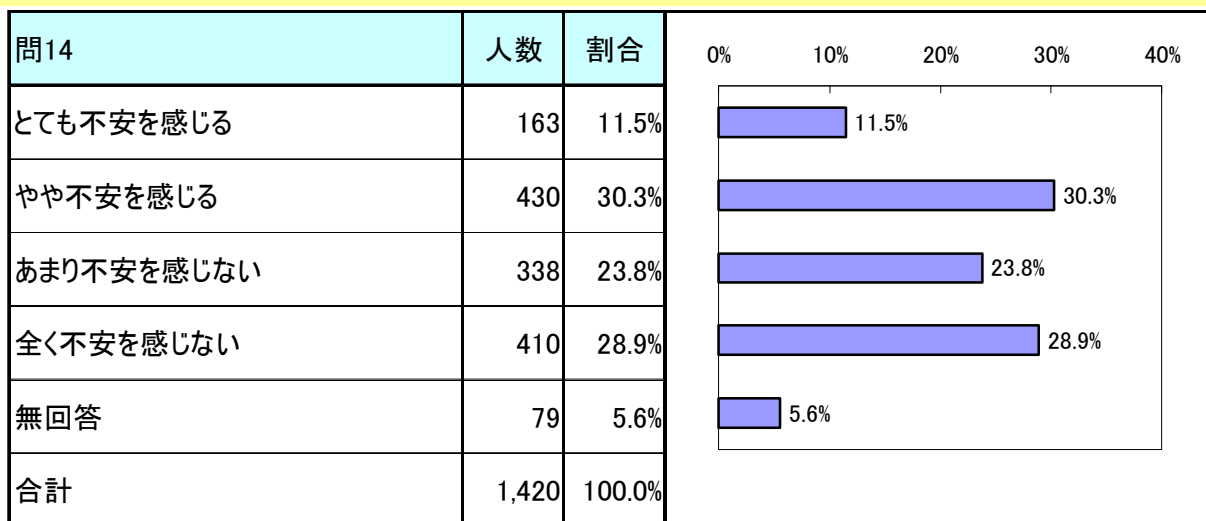
【属性別特徴】

性別では、女の「ある」が11.9%で、男の6.4%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、75歳以上の「ある」と「危うく転倒するところだった」の合計が23.8%で、65歳～74歳の合計の16.1%に比べてやや高くなっている。

問13	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ある	127	8.9%	47	6.4%	80	11.9%	50	6.9%	73	11.6%
危うく転倒するところだった	155	10.9%	78	10.6%	75	11.2%	67	9.2%	77	12.2%
ない	1,052	74.1%	565	76.6%	480	71.5%	574	79.0%	437	69.3%
無回答	86	6.1%	48	6.5%	36	5.4%	36	5.0%	44	7.0%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問14 あなたは、転倒（転ぶ・倒れる）に対する不安感がありますか。（ひとつに○）



転倒に対する不安感については、「やや不安を感じる」が30.3%と最も多く、次いで「全く不安を感じない」が28.9%、「あまり不安を感じない」が23.8%となっている。

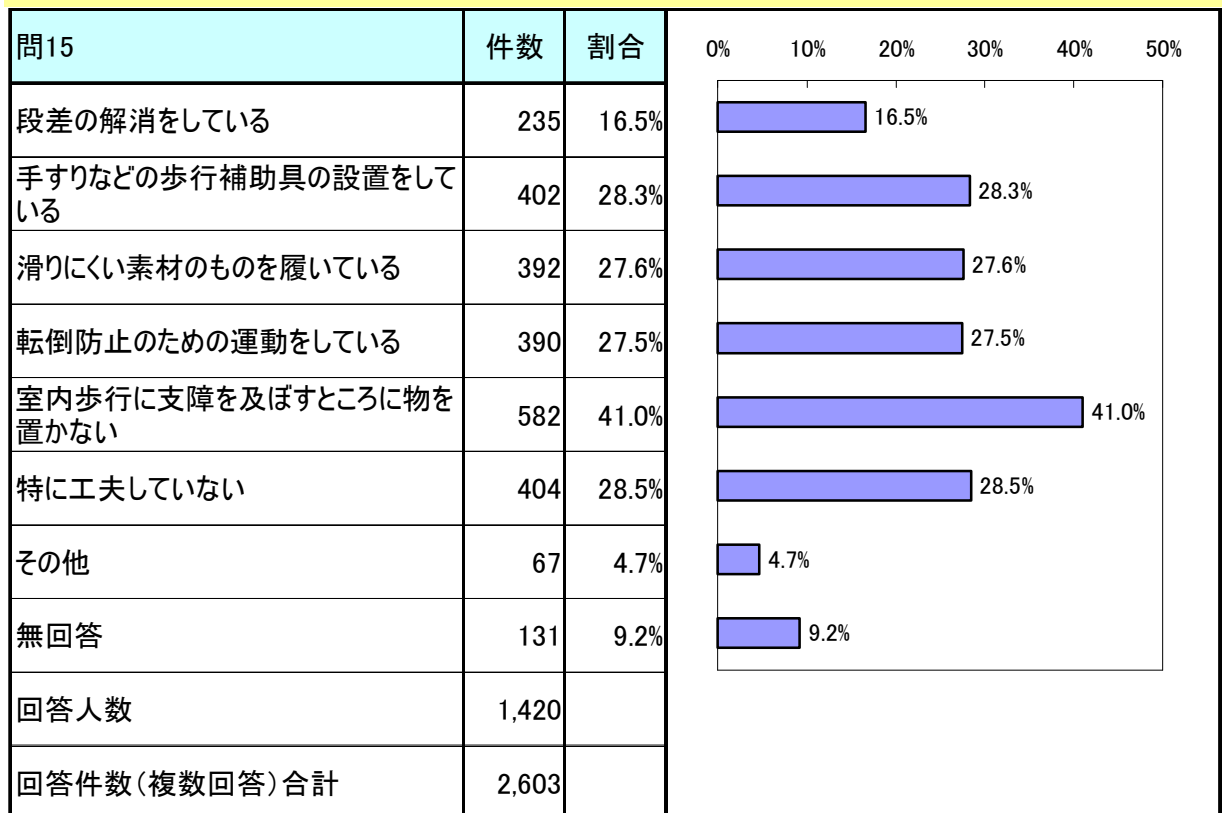
【属性別特徴】

性別では、女の「とても不安を感じる」と「やや不安を感じる」の合計が51.6%で、男の合計の33.3%に比べて高くなっている。

年齢別では、75歳以上の「とても不安を感じる」と「やや不安を感じる」の合計が54.2%で、65歳～74歳の合計の31.1%に比べて高くなっている。

問14	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とても不安を感じる	163	11.5%	49	6.6%	114	17.0%	50	6.9%	109	17.3%
やや不安を感じる	430	30.3%	197	26.7%	232	34.6%	176	24.2%	233	36.9%
あまり不安を感じない	338	23.8%	182	24.7%	152	22.7%	194	26.7%	131	20.8%
全く不安を感じない	410	28.9%	267	36.2%	138	20.6%	272	37.4%	119	18.9%
無回答	79	5.6%	43	5.8%	35	5.2%	35	4.8%	39	6.2%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問 15 あなたは、転倒防止のために、工夫していることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)



転倒防止の工夫については、「室内歩行に支障を及ぼすところに物を置かない」が41.0%と最も多く、次いで「特に工夫していない」が28.5%、「手すりなどの歩行補助具の設置をしている」が28.3%となっている。

「その他」の具体的な内容としては、「階段に発光性テープを張っている」、「健康体操教室に行っている」等が挙げられた。

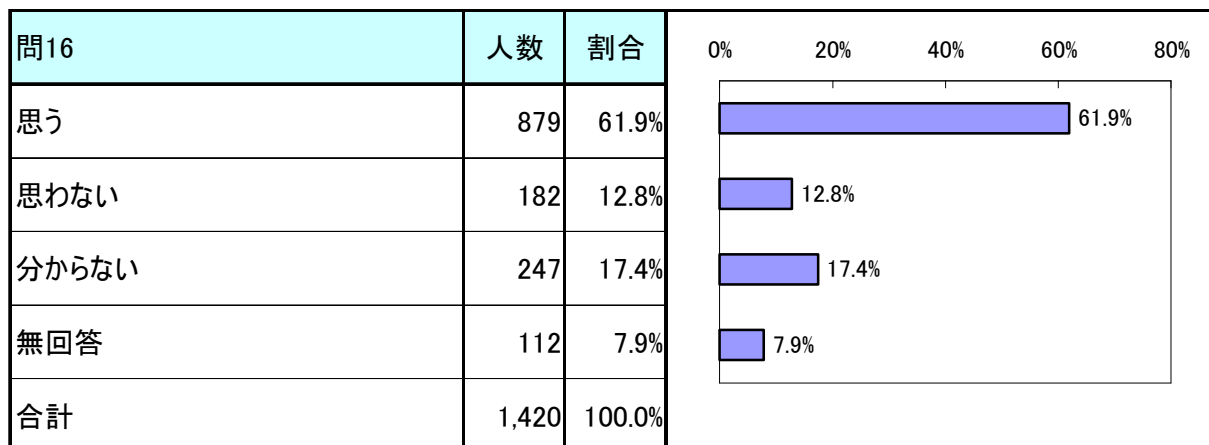
【属性別特徴】

性別では、男の「特に工夫していない」が34.3%で、女の21.9%に比べて高くなっている。

年齢別では、65歳～74歳の「特に工夫していない」が32.9%で、75歳以上の23.5%に比べてやや高くなっている。

問15	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
段差の解消をしている	235	16.5%	107	14.5%	126	18.8%	101	13.9%	129	20.4%
手すりなどの歩行補助具の設置をしている	402	28.3%	205	27.8%	196	29.2%	160	22.0%	227	36.0%
滑りにくい素材のものを履いている	392	27.6%	155	21.0%	233	34.7%	188	25.9%	191	30.3%
転倒防止のための運動をしている	390	27.5%	200	27.1%	188	28.0%	213	29.3%	166	26.3%
室内歩行に支障を及ぼすところに物を置かない	582	41.0%	273	37.0%	308	45.9%	283	38.9%	283	44.8%
特に工夫していない	404	28.5%	253	34.3%	147	21.9%	239	32.9%	148	23.5%
その他	67	4.7%	28	3.8%	39	5.8%	26	3.6%	36	5.7%
無回答	131	9.2%	69	9.3%	60	8.9%	60	8.3%	60	9.5%
回答人数	1,420		738		671		727		631	
回答件数(複数回答)合計	2,603		1,290		1,297		1,270		1,240	

問 16 あなたは、転倒する（あやうく転倒しそうになる）原因は運動不足にあると思いますか。（ひとつに○）



運動不足が転倒の原因と思うかについては、「思う」が61.9%と最も多く、次いで「分からない」が17.4%、「思わない」が12.8%となっている。

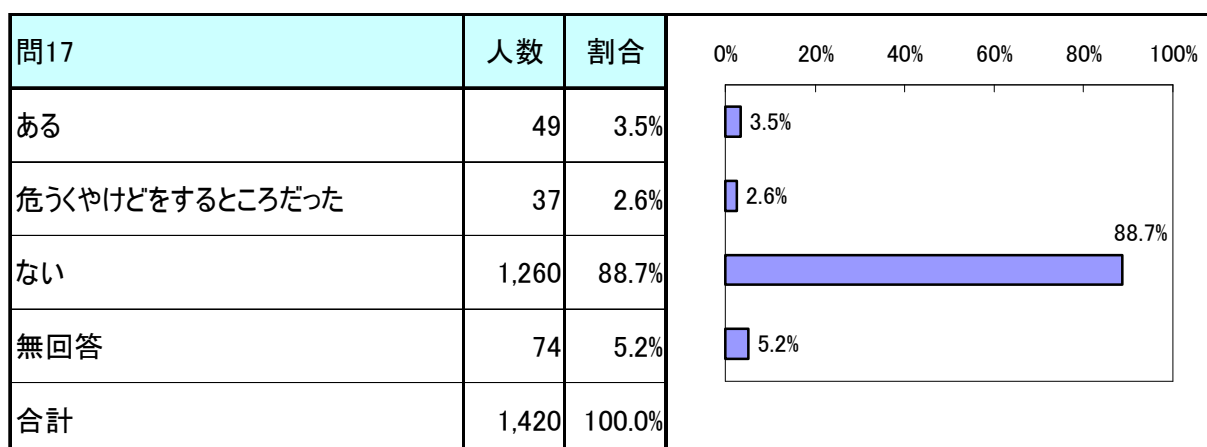
【属性別特徴】

性別では、大きな違いはみられない。

年齢別では、65歳～74歳の「思う」が66.3%で、75歳以上の58.8%に比べてやや高くなっている。

問16	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
思う	879	61.9%	466	63.1%	409	61.0%	482	66.3%	371	58.8%
思わない	182	12.8%	107	14.5%	72	10.7%	88	12.1%	86	13.6%
分からない	247	17.4%	110	14.9%	135	20.1%	115	15.8%	115	18.2%
無回答	112	7.9%	55	7.5%	55	8.2%	42	5.8%	59	9.4%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問17 あなたは、この1年間（平成23年8月～平成24年7月）に、自宅でやけどの経験がありますか。（ひとつに○）



1年間のやけどの経験については、「ない」が88.7%と最も多く、「ある」が3.5%、「危うくやけどをすところだった」が2.6%となっている。

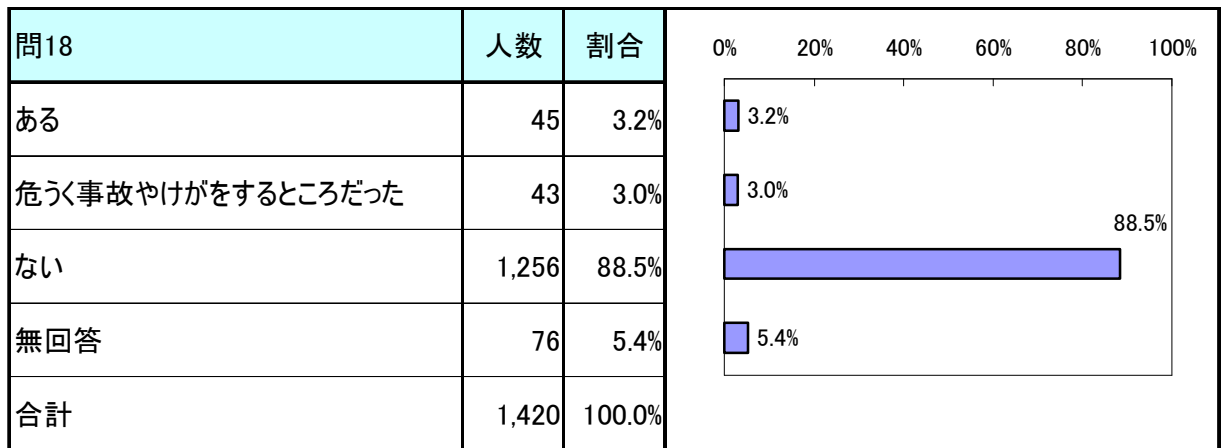
【属性別特徴】

性別では、女の「ある」と「危うくやけどをすところだった」の合計が8.5%で、男の合計の3.9%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、大きな違いはみられない。

問17	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ある	49	3.5%	20	2.7%	29	4.3%	25	3.4%	23	3.6%
危うくやけどをすところだった	37	2.6%	9	1.2%	28	4.2%	17	2.3%	18	2.9%
ない	1,260	88.7%	669	90.7%	582	86.7%	655	90.1%	553	87.6%
無回答	74	5.2%	40	5.4%	32	4.8%	30	4.1%	37	5.9%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問18 あなたは、この1年間（平成23年8月～平成24年7月）に、歩行中や自動車などに乗っているときに、事故やけがをした経験がありますか。（ひとつに○）



1年間の歩行中や自動車などの乗用中の事故・けがの経験については、「ない」が88.5%と最も多く、「ある」が3.2%、「危うく事故やけがをすところだった」が3.0%となっている。

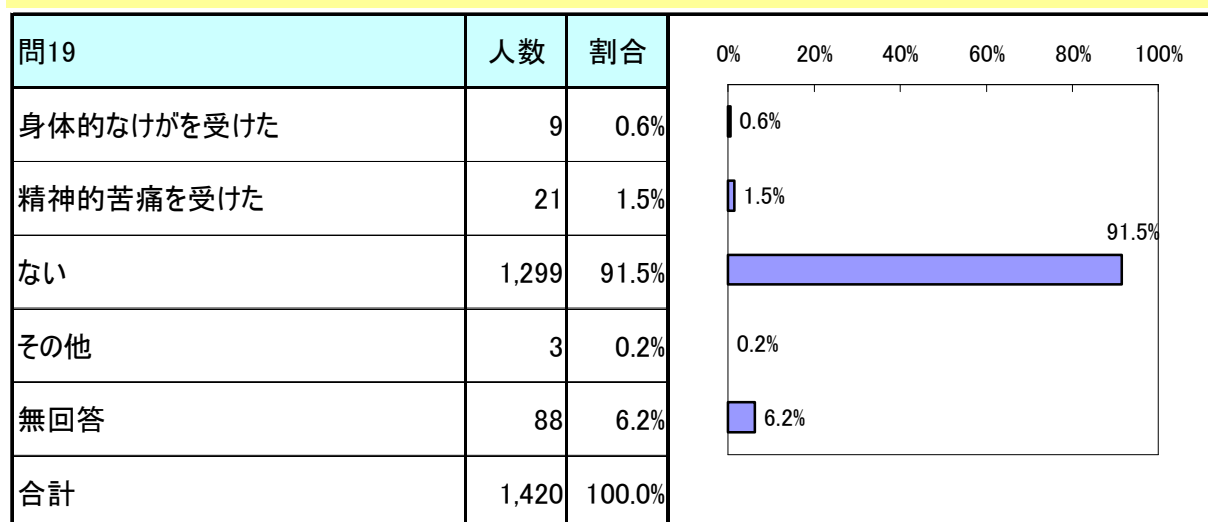
【属性別特徴】

性別・年齢別ともに、大きな違いはみられない。

問18	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ある	45	3.2%	23	3.1%	22	3.3%	19	2.6%	24	3.8%
危うく事故やけがをすところだった	43	3.0%	25	3.4%	17	2.5%	20	2.8%	21	3.3%
ない	1,256	88.5%	649	87.9%	598	89.1%	654	90.0%	549	87.0%
無回答	76	5.4%	41	5.6%	34	5.1%	34	4.7%	37	5.9%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

6 その他の事故やけがについて（犯罪・暴力・自殺）

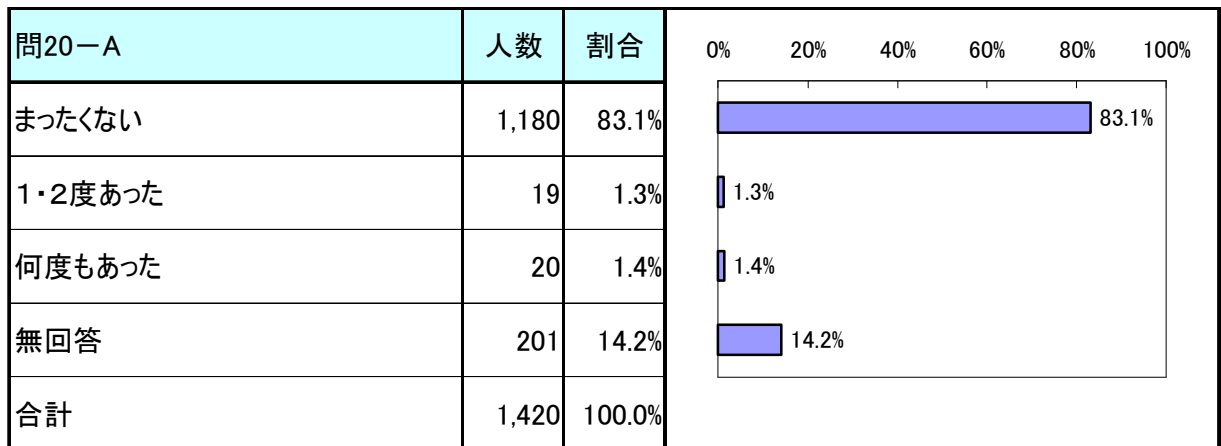
問19 あなたはこれまでに、犯罪による事故やけがの経験がありますか。（ひとつに○）



犯罪による事故やけがの経験については、「ない」が91.5%と最も多く、「精神的苦痛を受けた」が1.5%、「身体的なけがを受けた」が0.6%となっている。

問 20 あなたはこれまでに、配偶者や交際相手から次のようなことをされたことがありますか。(ひとつに○)

問 20-A なぐられたり、けられたり、物を投げつけられたり、突き飛ばされたりするなどの身体に対する暴行を受けた。(ひとつに○)



身体に対する暴力を受けた経験については、「まったくない」が83.1%と最も多く、「何度もあった」が1.4%、「1・2度あった」が1.3%となっている。

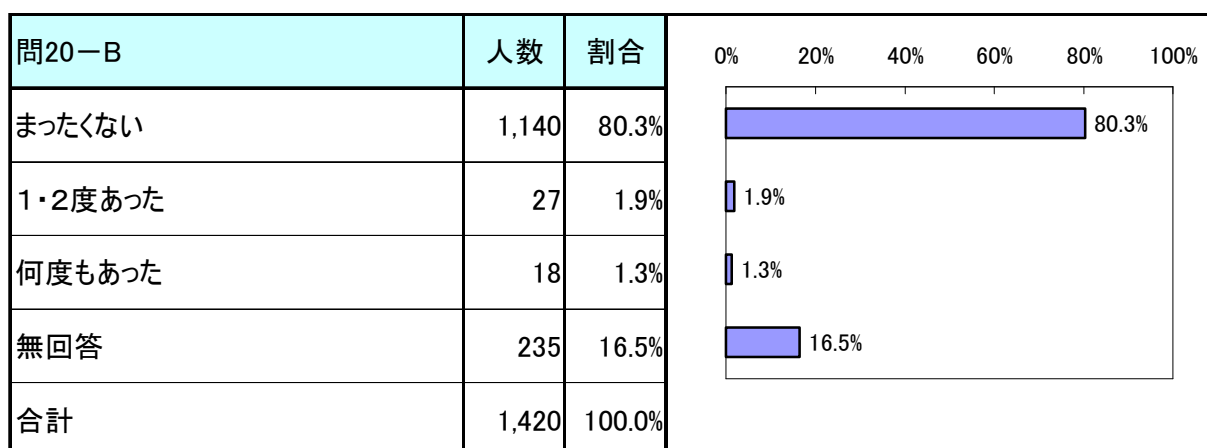
【属性別特徴】

性別では、女の「1・2度あった」、「何度もあった」の割合が、男の割合に比べていずれも高くなっている。

年齢別では、大きな違いはみられない。

問20-A	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
まったくない	1,180	83.1%	638	86.4%	534	79.6%	629	86.5%	506	80.2%
1・2度あった	19	1.3%	5	0.7%	14	2.1%	9	1.2%	9	1.4%
何度もあった	20	1.4%	1	0.1%	18	2.7%	10	1.4%	7	1.1%
無回答	201	14.2%	94	12.7%	105	15.6%	79	10.9%	109	17.3%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問 20-B 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視されるなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、あなたもしくはあなたの家族が危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた。(ひとつに○)



精神的苦痛を受けた経験については、「まったくない」が80.3%と最も多く、「1・2度あった」が1.9%、「何度もあった」が1.3%となっている。

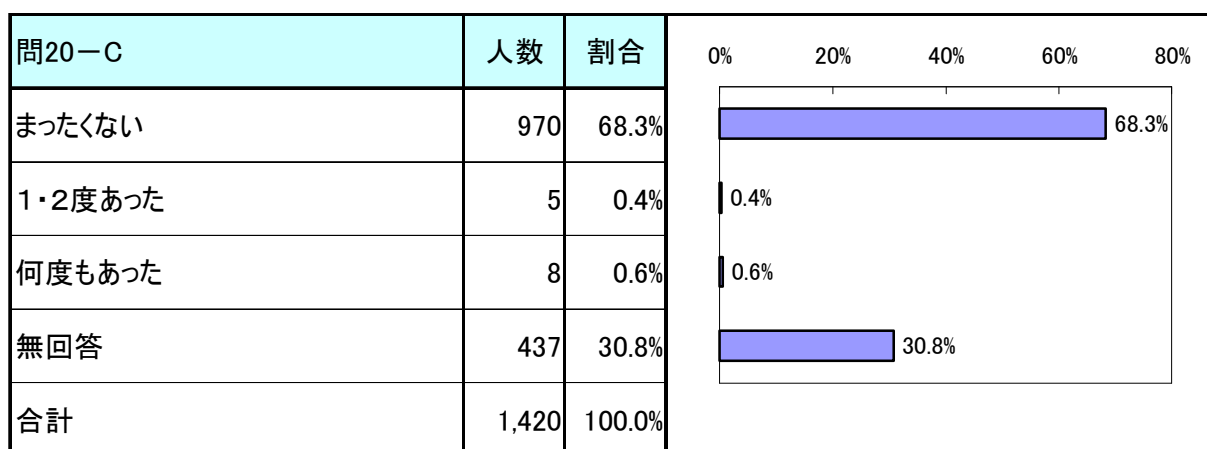
【属性別特徴】

性別では、女の「1・2度あった」、「何度もあった」の割合が、男の割合に比べていずれも高くなっている。

年齢別では、大きな違いはみられない。

問20-B	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
まったくない	1,140	80.3%	615	83.3%	517	77.0%	614	84.5%	482	76.4%
1・2度あった	27	1.9%	7	0.9%	19	2.8%	12	1.7%	13	2.1%
何度もあった	18	1.3%	6	0.8%	11	1.6%	11	1.5%	6	1.0%
無回答	235	16.5%	110	14.9%	124	18.5%	90	12.4%	130	20.6%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問 20-C 避妊に協力しなかったり、いやがっているのに性的な行為を強要された。
(ひとつに○)



性的行為の強要等の経験については、「まったくない」が68.3%と最も多く、「何度もあった」が0.6%、「1・2度あった」が0.4%となっている。

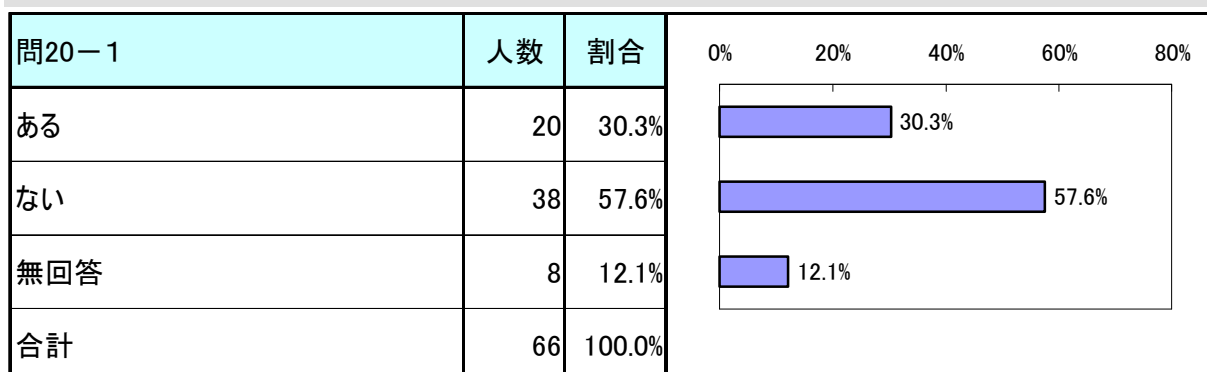
【属性別特徴】

性別では、女の「1・2度あった」、「何度もあった」の割合が、男の割合に比べていずれも高くなっている。

年齢別では、大きな違いはみられない。

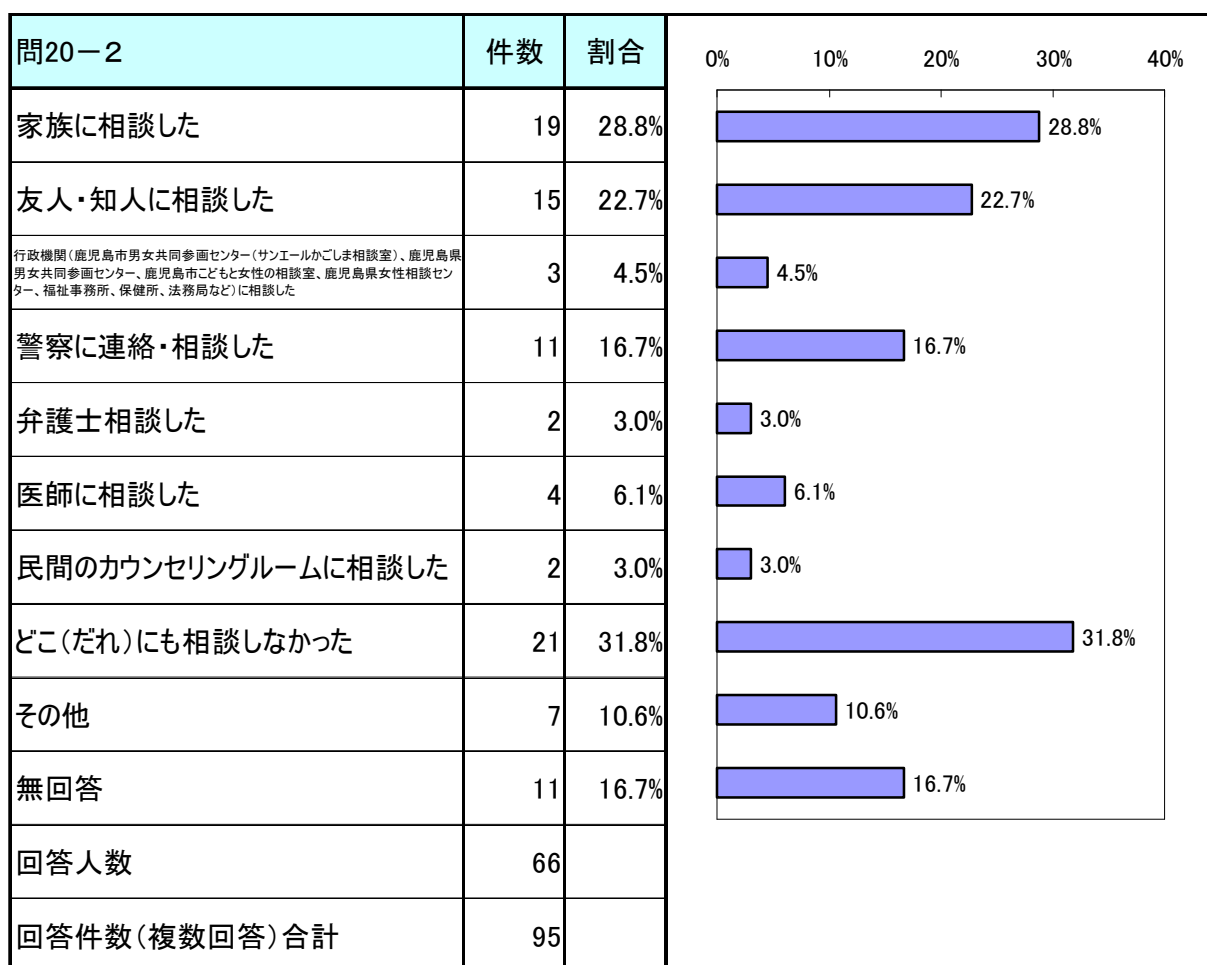
問20-C	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
まったくない	970	68.3%	497	67.3%	467	69.6%	541	74.4%	394	62.4%
1・2度あった	5	0.4%	0	0.0%	5	0.7%	4	0.6%	1	0.2%
何度もあった	8	0.6%	0	0.0%	8	1.2%	5	0.7%	3	0.5%
無回答	437	30.8%	241	32.7%	191	28.5%	177	24.3%	233	36.9%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問 20-1 あなたはその相手から受けた暴力によって、命の危険を感じたことがありますか。(ひとつに○)



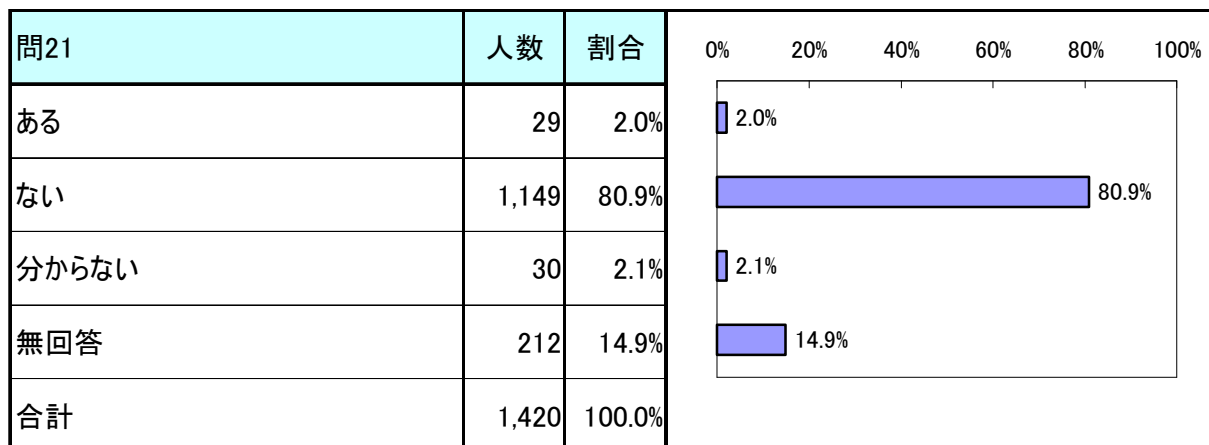
命の危険を感じたことがあるかについては、「ある」が30.3%、「ない」が57.6%となっている。

問 20-2 あなたはこれまでに、配偶者や交際相手から受けた行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(あてはまるものすべてに○)



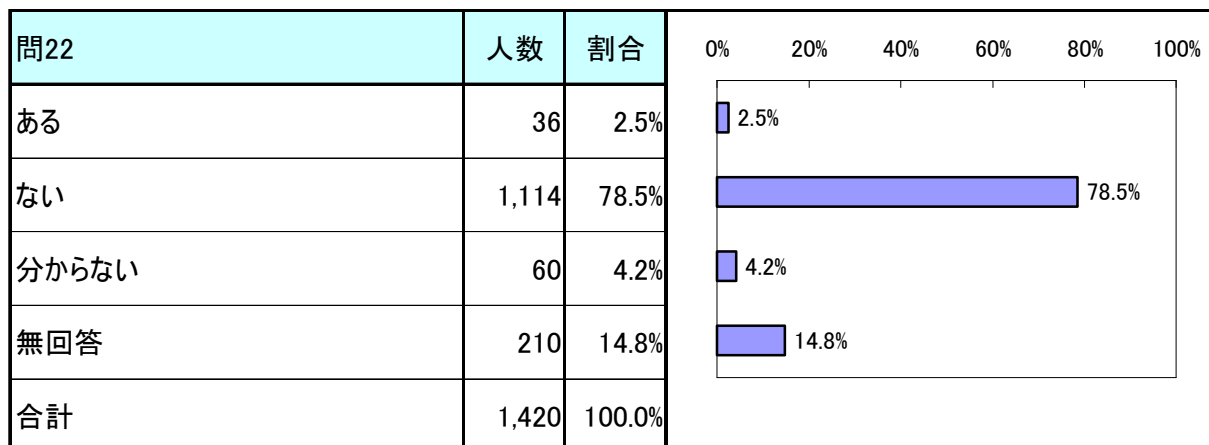
相談先については、「どこ(だれ)にも相談しなかった」が31.8%と最も多く、次いで「家族に相談した」が28.8%、「友人・知人に相談した」が22.7%となっている。

問 21 あなたはこれまでに、家族から「虐待だったかもしれない」と思う行為を受けた経験がありますか。(ひとつに○)



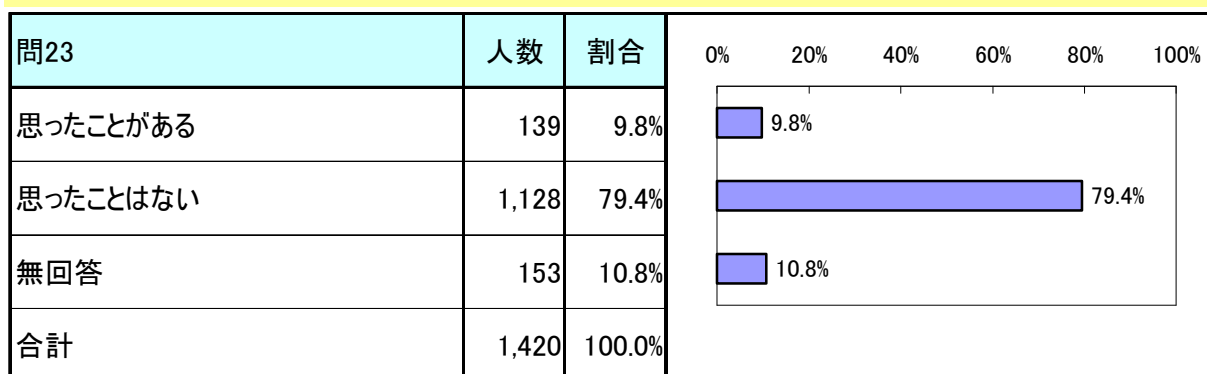
家族からの虐待だったかもしれない行為を受けた経験については、「ある」が 2.0%、「ない」が 80.9%となっている。

問 22 あなたはこれまでに、家族に対し「虐待だったかもしれない」と思う行為をした経験がありますか。(ひとつに○)



家族への虐待だったかもしれないと思う行為をした経験については、「ある」が 2.5%、「ない」が 78.5%となっている。

問 23 あなたはこれまでに、自殺したい（死にたい）と思ったことがありますか。
（ひとつに○）



自殺したいと思った経験については、「思ったことがある」が9.8%、「思ったことはない」が79.4%となっている。

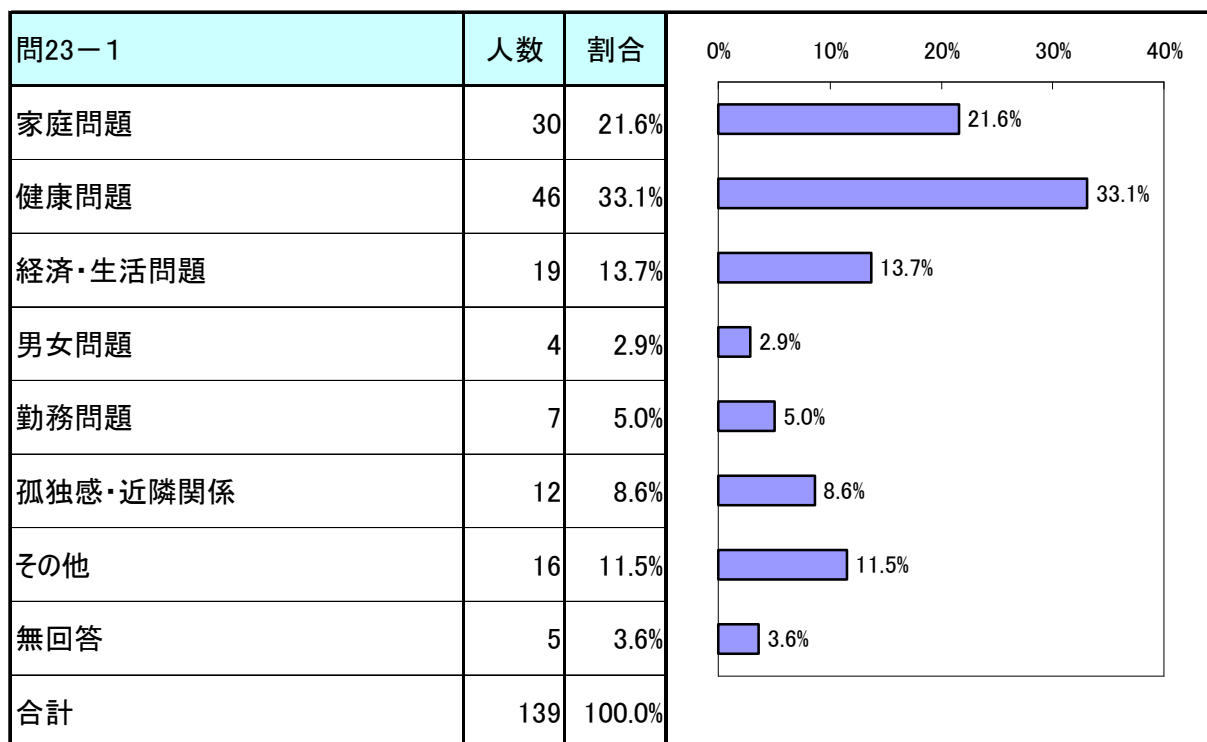
【属性別特徴】

性別では、女の「思ったことがある」が13.0%で、男の6.9%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、大きな違いはみられない。

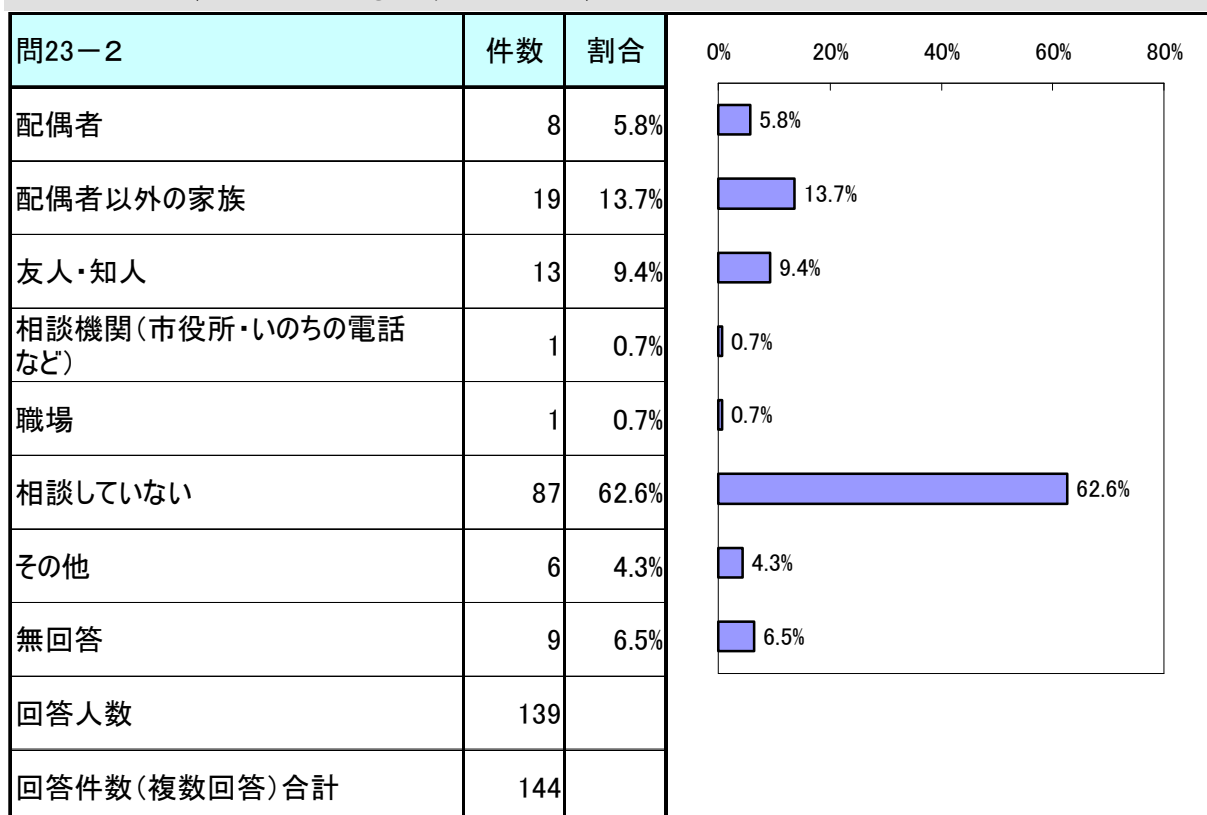
問23	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
思ったことがある	139	9.8%	51	6.9%	87	13.0%	81	11.1%	53	8.4%
思ったことはない	1,128	79.4%	617	83.6%	504	75.1%	597	82.1%	485	76.9%
無回答	153	10.8%	70	9.5%	80	11.9%	49	6.7%	93	14.7%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問23-1 自殺したいと思ったときの一番の原因は何ですか。(ひとつに○)



自殺したいと思った一番の原因については、「健康問題」が33.1%と最も多く、次いで「家庭問題」が21.6%、「経済・生活問題」が13.7%となっている。

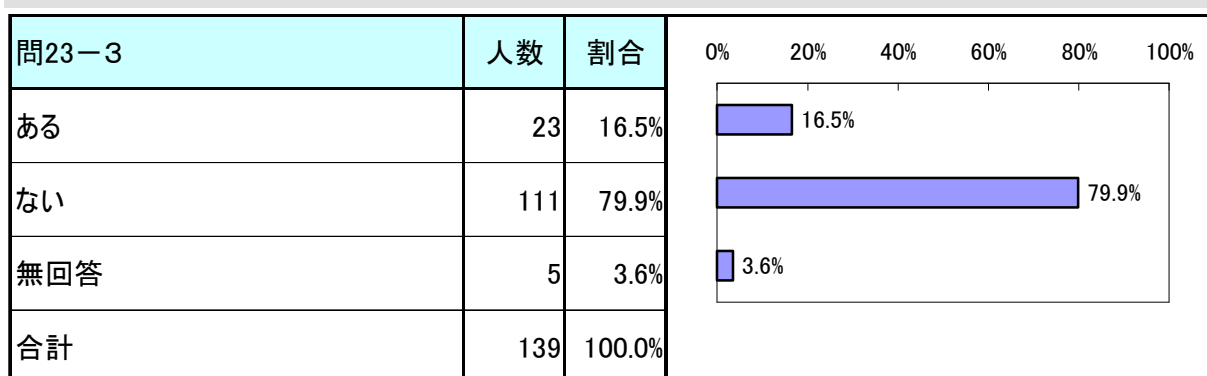
問 23-2 あなたは、自殺したいと思ったときにだれか（どこか）に相談しましたか。
（あてはまるものすべてに○）



自殺したいと思ったときの相談先については、「相談していない」が62.6%と最も多く、次いで「配偶者以外の家族」が13.7%、「友人・知人」が9.4%となっている。

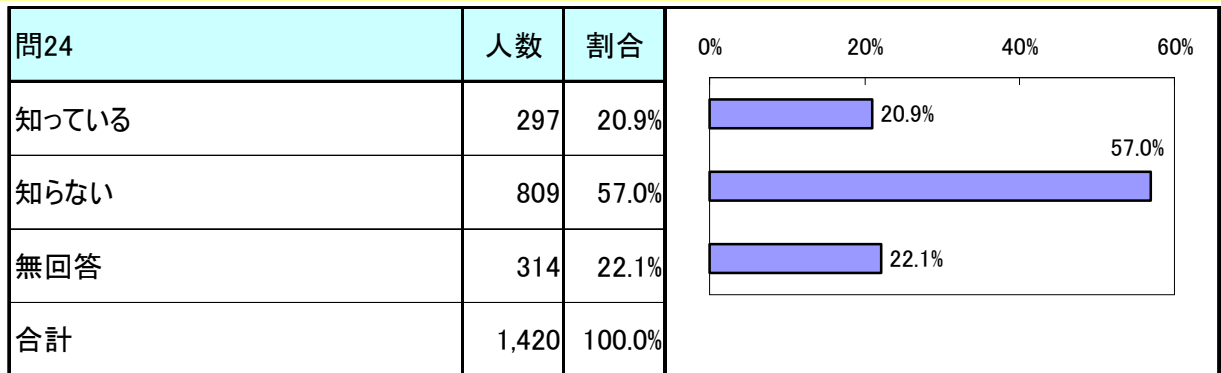
「その他」の具体的な内容としては、「看護師」、「病院」等が挙げられた。

問 23-3 あなたは、自殺したいと思った原因による精神的苦痛などのため、医療機関を受診したことがありますか。（ひとつに○）



医療機関の受診については、「ある」が16.5%、「ない」が79.9%となっている。

問24 自殺に関して相談ができる場所を知っていますか。(ひとつに○)



自殺に関する相談先の認知度については、「知っている」が20.9%、「知らない」が57.0%となっている。

【属性別特徴】

性別では、大きな違いはみられない。

年齢別では、65歳～74歳の「知っている」が25.0%で、75歳以上の16.5%に比べてやや高くなっている。

問24	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
知っている	297	20.9%	167	22.6%	129	19.2%	182	25.0%	104	16.5%
知らない	809	57.0%	425	57.6%	378	56.3%	427	58.7%	350	55.5%
無回答	314	22.1%	146	19.8%	164	24.4%	118	16.2%	177	28.1%
合計	1,420	100.0%	738	100.0%	671	100.0%	727	100.0%	631	100.0%

問 25 自殺について知っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

問25	件数	割合	
鹿児島市では毎年約100人の方が自殺で亡くなっている	92	6.5%	6.5%
自殺は追い込まれた末の死である	517	36.4%	36.4%
自殺は防ぐことが出来る	689	48.5%	48.5%
悩んでいる人はサインを発していることが多い	424	29.9%	29.9%
自分のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関へ相談することは大切である	598	42.1%	42.1%
身近な人のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関への相談を勧めることは大切である	612	43.1%	43.1%
自殺の危険性がある人に相談窓口や専門家などの支援に関する情報を提供することは大切である	559	39.4%	39.4%
考えたことがない	292	20.6%	20.6%
その他	29	2.0%	2.0%
無回答	260	18.3%	18.3%
回答人数	1,420		
回答件数(複数回答)合計	4,072		

自殺について知っていることについては、「自殺は防ぐことが出来る」が48.5%と最も多く、次いで「身近な人のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関への相談を勧めることは大切である」が43.1%、「自分のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関へ相談することは大切である」が42.1%となっている。

「その他」の具体的な内容としては、「周囲からの声かけや親身な対応、思いやりが大切」等が挙げられた。

【属性別特徴】

性別では、男の「自殺の危険性がある人に相談窓口や専門家などの支援に関する情報を提供することは大切である」が42.4%で、女の36.4%に比べてやや高くなっている。

年齢別では、65歳～74歳の「悩んでいる人はサインを発していることが多い」が37.0%で、75歳以上の23.5%に比べて高くなっている。また、65歳～74歳の「自殺は追い込まれた末の死である」が42.4%で、75歳以上の30.3%に比べて高くなっている。

問25	全体		性別				年齢			
			男		女		65歳～74歳		75歳以上	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
鹿児島市では毎年約100人の方が自殺で亡くなっている	92	6.5%	63	8.5%	29	4.3%	40	5.5%	49	7.8%
自殺は追い込まれた末の死である	517	36.4%	280	37.9%	236	35.2%	308	42.4%	191	30.3%
自殺は防ぐことができる	689	48.5%	380	51.5%	308	45.9%	391	53.8%	274	43.4%
悩んでいる人はサインを発していることが多い	424	29.9%	237	32.1%	185	27.6%	269	37.0%	148	23.5%
自分のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関へ相談することは大切である	598	42.1%	314	42.5%	282	42.0%	342	47.0%	239	37.9%
身近な人のうつ病のサインに気づいたとき、医療機関への相談を勧めることは大切である	612	43.1%	333	45.1%	276	41.1%	346	47.6%	245	38.8%
自殺の危険性がある人に相談窓口や専門家などの支援に関する情報を提供することは大切である	559	39.4%	313	42.4%	244	36.4%	324	44.6%	224	35.5%
考えたことがない	292	20.6%	143	19.4%	148	22.1%	135	18.6%	143	22.7%
その他	29	2.0%	13	1.8%	16	2.4%	11	1.5%	16	2.5%
無回答	260	18.3%	119	16.1%	134	20.0%	95	13.1%	146	23.1%
回答人数	1,420		738		671		727		631	
回答件数(複数回答)合計	4,072		2,195		1,858		2,261		1,675	

問 26 事故やけがの予防に関しご意見、ご感想などありましたらご記入ください。

足腰・筋肉の弱体化は、そのままでは加齢とともに進行するのも自然の成り行きであるが、それを少しでもくい止め、年齢よりも少し強化し長寿につなげていくのは、個々の自覚と健康増進への実践によることが大きい。

例えば①ウォーキング②室内でのストレッチ③医院等での指導を参考にして自宅で実践すること。

他人に事故やけがをさせないために日々意識して行動する。

意識が薄くならないためにはどうしたらいいかを自分自身考えて行動する。

急がずに自分で出来る範囲の行動をとることが大事。

車の運転等睡眠を充分にとっていることが大事。慌てないこと。

家庭円満であること、イライラは禁物。向こう三軒両隣間の気持ちの良い付き合いが肝心。

関係団体や行政が取り組む活動も大切であるが基本的には個人個人が事故やけがに遭わないように注意することが一番大切だと思う。

近所の人を大切に何時も仲良く、声をかけ合って生活することが大切に思います。

様々な態様があるので予防も千差万別の対応が必要であるが、自助、共助、公助の言葉通り平素から家庭、地域社会それぞれの立場で予防措置を考えておくことが大切である。

仕事上、長年数多くの交通事故等で被害者及び加害者が受けたダメージを見てきて双方の悲惨さを痛感してきました。運転する人、歩行者もお互いに心の余裕を持ち譲り合い、思いやりで行動すれば必ず事故防止につながると思います。私は夜間の外出は避けています。横断歩道で青信号で停止して下さった人に必ず有難うの感謝を込めて頭を下げて通過する様に常に心掛けています。

事故に遭わないように心がけ、けがしないように自身が用心していく気持ちを基本に自分自身が予防に心がけ、それが全うされることが続けば、地域の輪のために何か尽力できることがあればやりたいと思う。

事故やけがの予防は本人の自覚も大切だと思う。自分は若いのだと自負することなく常に危険に対してアンテナをはり自覚する必要があると思う。

事故やけがを防止するために、日頃から健康管理に気配りしている。特に歩くことで足を強くし、病気予防のため体重の安定に努めています。自動車事故防止のため学校、子どもたちの横断では、子ども優先にしています。

日々体を動かすことを目標に、自分で出来ることは自分です。また毎日決まった時間に、無理しない年齢相応の散歩で足腰を鍛え、そこで人と人との出会いがあり、楽しい会話ありで生きがいを感じています。

夜間の散歩は反射材を身に付けることは常識だと思います。自分の身を守るためだけでなく相手の思いやりとも思います。